京城日報

廿三日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金參圓七拾錢 ▲郵券代用二割増

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲雜報欄內一行金貳圓 ▲特別場所指定 ▲三號活字 ▲六號活字は五號活字の一行は二行と同樣の事

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯 ... 振替貯金口座 京城 ...

汽車時間表（七月十日改正）

○又開戰あらん
支那軍後續部隊急行 我が赤十字班の活動

鄭家屯に於ける支蒙兩軍は依然對峙し二十二日午後より支那軍は舊陣地に復し蒙軍は附屬地東北に假陣地の儘依然として休戰中なり支那軍は鐵嶺方面より後續部隊急行中何れ二三日中又復開戰あらん我赤十字援護班は負傷者八十餘名を收容せり（長春特電）

○鄭家屯事件と日本の意嚮
駐日公使よりの報告

駐日公使章宗祥氏より外務省政務局長小池氏の談として鄭家屯事件につき日本政府は平和に解決する考へなれば決して新外の問題を發生する事なし又た之に關し日本の各新聞紙が激烈なる議論をなし兩國の親交を傷るを禁止せりと報告せり（北京特電）

○巴運河日本租借說
大西洋岸にて＝海軍根據地として

日本は巴奈馬運河の大西洋岸に於て海軍根據地六萬五千エーカーを租借せりとの風說に付米國國務卿ランシング氏は專ら之が調査中なり（紐育電報）

○米國上院と移民法案

民主黨上院委員會は曩に移民法案を次期議會迄延期することに決議したりしに上院は二十一日多數を以て之を討議し日本に關することは曩に委員會にて修正されたるも其の討議中亞細亞人に關する法案は秘密會とされたりと（紐育電報）

○勃國の對希臘通告

雅典來電に依れば、希臘駐剳勃牙利公使は首相ザイミス氏に向ひ勃牙利軍が希臘に於ける軍略上の重要地點を占領し茲に攻勢を取る旨を通告せりザイミス氏は希臘王に謁見し何事をか奏上せり（倫敦電報）

○議員勳章傳達

現前衆議院議員に對する日獨戰役に關する勳章傳達式は二十八日午前九時半院內に於て擧行さるべきが拜受者は三日以內に參內御禮言上をなすべしと（東京特電）

●勇敢なる蒙古軍
何人も舌を捲きて驚く 今後の行動刮目に値す

勇將巴布札布の率ゆる騎兵三千五百馬匹五千、駱駝五十より成る蒙古軍は突如鄭家店に現はれ駐屯支那兵を擊破して確實に同地を占領し此處に陣容を整へ休養をなし居たるが二十日奉天より派遣せる二十七師の步兵三營、騎兵一營、砲兵二營と午前十時頃より戰鬪を交へ支那兵は攻勢を取り蒙古軍は南方高地に據りて防戰數刻に亙り遂に或方面より得たる大砲を以て北方高地より支那兵に對し猛烈に砲火を浴せたる爲め支那兵は一たまりもなく潰亂し午後二時迄に南方に退却せり此の戰鬪において支那兵は多數の死傷者を出したるも蒙古軍は僅に負傷一名を出せしに過ぎず其の意氣頗る旺盛なり

▼蒙古軍の陣容 は極めて堂々たるものゝ由にて當初此の一隊四五百兵は頭領巴布札布の命令に基づき俊穩なる蒙古馬に跨がり山羊と駱駝を引具し先發隊として七月十日洮南方面に向ひ疾風枯葉を捲くが如き勢ひを以て突泉縣に現はれて驕れる吳統領麾下の支那兵を擊退して一擧突泉城に入りしも支那兵は更に山砲八門野砲四門の砲兵隊を加へて遂に蒙古軍を攻擊し而して蒙古軍の死傷兵卒百數十馬匹三四百に達したる爲めさしも勇敢なる彼等も支へ切れず折角占領せる突泉縣城を放棄して退却せざるを得ざるに至れり去れど此の戰ひにおいて統領吳俊陞に重傷を負はしめたるは彼等の聊か滿足する所ならん一方巴頭領の引率せる本隊は七月十七日海拉爾の北五百支里の哈爾哈を發し肅親王の第七子憲奎王子を擁立し稱して蒙古勤王義軍といひ黃龍旗を朔北の野に飜へし先づ東烏珠穆沁王府を出で興安嶺の險を越へて八月一日カスラマ廟に到着し後に一千支里を突破して二日突泉驛に出でたり然るに此際先發隊は一旦占領せし突泉城を放棄して他に退却せし後なれば本隊も止むを得ず攻擊を見合せ先發隊と合して退却地の山地に沿ひ陣地を張り茲に蒙支兩軍は暫らく相對峙せり

▼洮南の攻擊占領 は巴軍當初の目的なりしものゝ如く先發隊を派して先づ其の關門ともいふべき突泉縣を居らしめたる次第なるが其の後支那兵の增遣頻を接し突泉より洮南にかけ嚴重に警戒を加へ殆んど蟻の這出づる隙間もなき程なるに反し蒙古軍は此折未だ大砲を有せず武器において劣るところ多きため思慮に富める巴布札布は洮南進擊の不利を認め退却地に在りて兵士に休養を與へ此間徐ろに武器の補充をなし且北滿長春方面における宗社黨扶國軍と遙かに相謀る所あり斯くて八月四日の夜人馬枚を啣んで窃に營地を發し茫々たる原野を經て土謝圖王府の東に出でモヤンハイ廟の南に入り開通縣を距る六十支里の地點にて鄭家屯開通間の道路に出でしかば彼等は直ちに其間に架設しある電柱を倒壞し橋梁及び道路も亦之を破壞し斯くて新集縣に出で此處に屯せる支那騎兵二三百名と衝突して之を追ひ散らし夫より小塔子萬發街を經て鄭家店に接近し更らに三晝夜を費して鄭家店に達し同地駐屯の支那兵をして狼狽驚愕せしめたるなり突泉縣鄭家店間は約二百五十一哩一千支里の長距離にして蒙古軍は其間種々の困苦と鬪ひつゝ終に滿洲の一角に現出し豫定の如く宗社黨扶國軍との連絡を取る迄に步を進めたるなり

▼此勇敢なる行動 は啻に支那兵を驚愕せしめたるのみならず何人も舌を捲きて驚嘆する所なるが更に感嘆すべきは其の行軍中秋毫も犯さず各村落通過の砌り匪賊と誤られ驟間の銃限より射擊を受けたるも巴頭領は嚴に部下に命じて應戰せしめず我れは是れ勤王義軍なり義軍の名を辱かしむるが如き行動に出づる勿れと嚴達し故なき良民に危害を加へざりし事是なり此くの如くにして滿洲に進入したる蒙古軍は意氣益々上り宗社黨扶國軍並に鼎臣等の一隊とも略々結合成り既記の如く逆襲し來れる二十七師の精銳なる支那兵を更に擊退し進んで奉天城に押寄せ督軍張作霖の首を刎ね以て滿朝復興の血祭にせんと豪語し居る由なるも聞く所に據れば或筋の斡旋に依りて暫らく他の方面に移り再び休養を爲すならんとも云へり

▼首將巴布札布 は年齡猶ほ四十一二の身長六尺以上に及べる偉丈夫にして酒を飲まず煙草を喫せず阿片を嗜まず女色にも耽らず精力最も絕倫にして日夕兵士と寢食を俱にし何等倨傲の態なく而も軍に臨む每に眞先に出でゝ指揮號令すると云ふ有樣なる爲め一軍悉く彼に心服し命令隨つて能く行はれ元々生命知らずの勇敢なる蒙古兵は勤王義軍の旨趣と巴首領の人物とに推服して決死再び鄕土に生還を期せざる覺悟を存し居ると云へば其の善戰健鬪する所以のもの怪むに足らず而して彼等は天祐の必ず蒙軍に利ならんことを信じ滿朝の發祥地に進み入るを得たる以上勤王の義を全ふする期して待つべしと稱し居る由、蓋し今後の行動刮目に値ひすべし

●露領鮮人の移住（八月二十一日發大連支局報）

日露親善以來露國官憲の態度は露領排日鮮人に對する取締り嚴重に赴きつゝあるより露領に居堪まらざる此種の鮮人は漸次として間島北部を目覺けて侵入するもの多く本年に入りて露領より間島に移住したる鮮人は意外に多かるべき見込にて此趨勢に推すときは將來東寧縣及び汪淸縣の兩管內は露領排日鮮人の巢窟たるべく是れが取締に就て更に考究を要すべきものならんと（間島）

●夏蠶收繭豫想
產額成績良好

本年は春蠶の經過良好なりし爲め桑葉は概ね春期に於て摘採せられたる結果、忠北、忠南の二道には全く夏蠶の飼養者なく、全南、慶南、平南、咸南の諸道も亦た其の飼養を見合はせたる者少からざるの狀況にして前年に比し飼養者の增加せるは京畿、慶北、黃海、江原及咸北の五道に過ぎず加ふるに蠶兒掃立以來の天候は一般に降雨多くして不便を感じたりしが幸に壯蠶期に至り漸く天候恢復せしと桑葉の伸長佳良にして適當なる飼料を得たることに依り蠶兒は概して良好なる發育を遂げたるを以て產繭額は前年と大差なき見込なり、今七月末日現在調査に依る飼養戶數は一萬六千九百四十四戶、其の蠶種掃立枚數一萬六千四百六十三枚にして產繭額は三萬九十二石の豫想なり而して之を前年に比すれば飼養戶數に於て九分掃立枚數に於て二割の減少を示せるも產繭豫想高は僅に三分弱即ち八十三石の減少に過ぎず、今夏蠶狀況を累年比較を表示すれば左の如し

年次	飼養戶數	掃立枚數	產繭額
大正三年	一六、五三〇戶	二二、三七枚	三〇、四八〇石
大正四年	一八、五三九	二〇、五六二	三九、一七五
大正五年（豫想）	一六、九四四	一六、四六三	三九、〇九二

●官製鹽發販

天候恢復と共に官鹽田は愈々其の採取高を增加し廣梁灣の如きは今日までに於ける採鹽量既に五千萬斤以上を算するの狀況にして之れ迄不振を極め居たる朱安も亦漸次收量を增加し來れるを以て本年の採鹽豫定額七千萬斤に達するの日は遠きにあらざる可く今後晴天久しきに亘らば其の採鹽量は更に一層の激增を見る可し

●地查委員會

高等土地調查第二部委員會は二十三日午前十時より總督府第一會議室に開會山縣委員長以下各委員出席し土地查定不服申請に關する件を審議正午散會したり

●李王家午餐會

李王家にては廿五日午後零時三十分より井口軍事參議官を主賓として昌德宮內仁政殿に午餐會の催しあり總督府よりは山縣政務總監小松翰長、松永武官遠藤秘書官藤波通譯官等參列の筈なり

●閔李王職長官歸京

天機奉伺の爲め昌德宮德壽宮御名代として東上中なりし李王職長官子爵閔丙奭氏は事務官金東完氏を隨へ廿二日午後九時南大門著列車にて歸任せり停車場には李王職各高等官朝鮮貴族を初め官民多數の出迎ありたり

●關屋局長輕快

有馬に於て療養中なる關屋學務局長は其の後の容態徐々良好にして二名付き添ひ居たる看護婦の如きも既に一名としたる由なれば起居の自由を得るも遠からざる可く、須磨邊りに轉地療養の上全癒を俟て歸任すべし

●ギ氏招待會

米國製鋼王ギヤリー氏一行は二十五日鮮滿急行列車にて北京方面より南大門驛著入京二十七日朝出發內地に向ふ筈なるが朝鮮銀行其の他銀行業者實業家小松翰長等約二十名は二十六日午後六時より一行を朝鮮ホテルに招待晩餐會を催すことゝなれり

●國分長官平壤行

司法部長官國分三亥氏は二十二日午後三時十分平壤驛著在住官民有志五十餘名の出迎へを受け直ちに自動車にて旅館柳屋に入れり因に平壤覆審法院判檢事主催となり二十二日午後八時より料亭大同館に於て同氏の歡迎會を開催したるが參會者四十餘名に達し頗る盛會なりき

●農銀支店長交迭

慶尙農工銀行草梁支店長中岡祐雄氏は今回本店へ榮轉し其後任に馬山支店長たりし森本市郎氏就任せしに付兩氏は披露の爲め釜山官民有志數十名を廿六日午後七時より鳴戶本店に招待なし盛大なる宴會を催す筈にて其れ其れ招待狀を發せり

●憲兵分隊長異動

八月十五日附を以て榮山浦憲兵分隊長を命せられたる憲兵大尉豐原俊雄氏は八月十八日附を更に仙臺憲兵分隊長を命せられ同時に弘前憲兵分隊長兼副官憲兵中尉木村滿治氏は朝鮮駐剳憲兵隊分隊長に任命されたり

●憲兵分隊長著任

池上天安憲兵分隊長は二十二日午後六時三十分天安驛著の汽車にて家族一同を伴ひ著任したるが官公吏及び地方の內鮮人有志者等驛迄盛んなる出迎を爲したり

●緖方少將送別會

今回少將に昇進と共に第九旅團長に轉せし緖方多賀雄氏の送別會を來る二十六日開會の筈なり

●井出主計監招待

朝鮮銀行にては今回待命と成れる井出主計監を主賓として廿三日夜白水にて送別會を催す由

●中村主計正退院期

十八師團經理部長に轉補せられたる駐剳軍司令部經理部員二等主計正中村大三氏は痔疾の爲め衞戍病院入院中の處、廿三日中に退院すべし

●江原素六氏入京期

朝鮮に於ける基督敎各派聯合の協同傳道に就ては目下其の準備中なるが來鮮す可き講師は露無、釘宮、宮崎、徃尾四牧師の外貴族院議員江原素六氏も應援することに決し同氏は九月八日朝又は夕南大門著の列車にて入京することに決定したりと

●中野警務官歸期

過日來全南山保安林編入調査要務を帶び江原道出張中の中野保安課長は二十四日歸任すべしと

●學校組合會議期

京城學校組合は來る二十八日午後三時より組合會議を開き大正四年度決算の承認及び新設學校の件に就て協議を開くことゝなり廿日召集狀を發したり

●學校組合會計檢査

京城學校組合にては二十四日より大正五年度の會計檢査を行ふ筈にて田中外四名の檢査委員出席すべしと

元山

▲補助員採用試驗 豫て元山憲兵分隊に於ては憲兵補助員募集中のところ既に應募者十五名を超過し來る二十五日頃之れに對して採用試驗を行ふ筈なり▲佛敎講演 元山泉町淨土院に於ては二十一日午後八時より佛敎講演會を開き井上諦雁氏長谷川白圖氏（宗敎大學敎授）の講演ありたり▲校長會議 元山府廳にては二十三日午後一時より府內各小學校及び普通學校の校長會議を催せり▲咸南の櫟實收穫 尙櫟樹は咸南到る處に生茂し道當局に在りては極力斯樹の保護及び植付を獎勵する方針なるが昨年中食料として採收せる櫟の實は總量一千六百九十三石三升二千六百七十八圓の多きに達せり鮮人の最も嗜好するものにして之れが植樹の獎勵は將來頗る有望なるものあるべしといふ

仁川

▲免稅品輸入 朝鮮關稅定率令に依り關稅を免除したる加工又は製造用原料品として七月中仁川港より輸入されたる種類數量は製靴用牛皮二萬七千四百九十三枚價格二萬二千五百四十四圓を青島より輸入したるのみなり▲仁川特種商況 仁川七月中の特種商況を記せば（一）定期界活躍の結果當地米價暴騰を來したる爲め精白米原料として內地肥後米の八百七十餘石の移入あり當地取引所値段十一圓三十錢にして是れ內地米移入の嚆矢なり（二）定期界は當月限受渡五萬餘石の多きに達し一部解合をなしたる外四萬八千餘石の實米受渡をなせり是れ當地未曾有の大受渡にて受渡値段は十二圓五十錢なり（三）神戶鈴木商店は當地再製鹽業に着目し本月央頃より生產に從事し尙將來は山東原鹽の外關東州原鹽の輸入及び是が普及を計畫し居れる等なり

鳥致院

▲銀行昇格 本年春期に於て開設せられたる漢湖農工銀行鳥致院派出所は開所以來非常なる好成績にて先般支店昇格の件出願中の處愈々認可の指令に接したるを以て來る九月より擴張事務を取扱ふ由▲市場活況 輕鐵問題突發して以來人氣稍立ち近く市場新設を云ひ鮮人とも貸家全部塞がり近年稀なる有樣なり▲貨物自動車 鳥致院忠州間貨物運搬自動車は車庫停留所等の建築大に進捗し近日中に運轉開始せらるべしと▲自動車停留所移轉 鳥致院本町一丁目にありし鳥忠間及び鳥論間自動車停留所は先月中より驛構內に起工中の處愈々竣成したるを以て二十一日より新築停留所に移轉せり

大田

▲參事官來田 黑崎法制局參事官は廿六日午後三時四十五分湖南線にて來田一泊の上廿七日大邱へ向ふ筈▲協會例會 大田實業協會例會は去る十五日開會の筈なりしが總督府より識者を招聘し商工業に關する講話を聽く事となり居りし爲め延期中なりしが本府にても現今各署中休暇其他繁忙の爲め人操り出來難くと通知ありしにより道廳より一名來田の事に決し二十五日淨土宗にて開會の由▲臨時淸潔法 長崎其他各地に於て虎疫發生の爲め且つ先般の降雨永かりしを以て二十二日より來る二十六日まで五日間市內各區の大淸潔法を行ふ由▲野菜概況 降雨永かりし爲め蔬菜類一般に悲觀され居たるに快霽後の天候意外に良好なりし爲め一般に恢復せり然しながら價格は昨年に比し三四割高の模樣にて西瓜畑渡十七八錢眞瓜十五六錢所を呼び其他の大根葱等相應に供給しつゝあるも昨年の如く他に輸出するには至り難き模樣なり

大邱

▲中山副官出張 大邱憲兵隊副官中山憲兵中尉は廿三日より一週間の豫定にて鬱陵島に出張す▲期成會幹部協議會 大邱旅團設置期成會幹事は兵營道路敷地買收の爲め廿三日午後一時より府廳階上にて協議會を開催せり▲商議評議會 大邱商業會議所にては二十二日午後評議會開催の結果金銀物品出納規定改正及經費徵收期日評議員會例會人取締規則は何れも原案の通り確定す

永川

▲輕鐵敷設協議 慶北永川邑の有志は朝鮮輕鐵會社計畫にかゝる大邱慶州間輕鐵測量の著々進捗しつゝあるを見るや廿三日午後四時より官民有志の會合をなし是非共永川邑附近に線路を敷設すべく輕鐵會社に交涉する事に決せり▲永川金融組合近況 慶北永川金融組合は目下組合員五百七十七人なるが組合の內容も充實しつゝある今日なれば近日中組合員をして千人に達せしむ可く一方農民に組合資金[illegible]をなす方針なりと▲衞生講話會 慶北永川警察署にては廿二日管內各駐在所長を召集し會田公醫をして人工呼吸術中毒應急手當其他衞生に關する講話會を開催せり▲輕鐵測量進捗 大邱慶州間の輕鐵鐵路測量は大部分既に河陽附近を了へ廿二日永川郡竹防洞に入り新谷歐吉氏宅を根據として十日間の豫定にて永川河附近の測量に著手せり▲繩叺販賣組合擴張 今春より慶北永川郡琴湖面に設立したる繩叺販賣組合は今秋より大に擴張し日鮮人合同にて販賣事業を經營する方針なりと

人事消息

▲中村明氏（三菱會社員） 鮮滿視察の爲め二十三日入京已城館へ
▲井上藤三郎氏（大阪朝日記者） 二十三日入京來る九月三日頃迄滯在
▲矢澤近次郎氏（東洋生命支店長） 二十三日滿州より歸京
▲中川游氏（鑛業家） 同上
▲森脇久氏 病氣の爲め引籠中
▲李興俊氏（東京步兵第三聯隊附少尉） 二十二日夜入京通義洞李鍝斗氏宅へ
▲竹田寬次郎氏（全州經濟事務取締役） 二十三日朝入京笑福旅館へ
▲松村英雄氏 ▲伊東惣吉氏 ▲松葉谷泉太郎氏（古川商會員）入京中の處二十二日夜退京
▲フイール氏▲モルトン氏▲ポストウイック夫人▲ウオード孃（以上米人）二十二日夜入京朝鮮ホテルへ
▲ハイトレイ氏夫妻（京城英領事） 二十三日朝仁川へ

□大塊翁の左右に 八月十九日夜

秋暑し杉の下草刈らしめぬ　義朗
秋暑き廊下日ざしや松葉杖　岡蒼
汽車に臭き土人の煙草秋暑し　未知男
古びたる俥の母衣や秋暑し　空羅
秋暑し扇に駄句の殘り居る　暑村
煮麵に佛の安堵や盆の月　義郎
檢非違使の偏武の僻や秋暑し　河嵐

○

大塊翁大人の秋蟬の句に失禮ながら脇句を呈す幸に第三句を乞はれなば幸甚（京仙居一雅拜）

啼狂ふ餘命短し秋の蟬　大塊
俄に寥り光る稻妻　一雅

○

近頃大塊翁と平塚居士の滿蒙前途の憂慮の御名句拜承仕候小生は左之通り申上度候至極平凡に御座候（鳴門生）

初秋や磐をかぎりに蟬の啼く

水泳と測圖の御實習

李王世子殿下此頃の御生活
閔李王職長官の謹話

自分が今回東上した事に就て世間では王世子御婚儀に關する打合せの爲めのやうに取沙汰して居りますが時節柄そんな風に思はれますのは無理もない事でありますが實際は其の爲めに東上したのではありません毎年例として一回乃至二回李王殿下より御名代を

◇東上させて天機を奉伺し

併せて王世子殿下を御見舞ひ申す事に成つて居ります今回は 聖上日光に御避暑遊ばされたるに付日光に赴き同地に二日間滯在いたし拜謁を賜り天機奉伺の上有難き御言葉を賜りそれより東京に五日間滯在致しました此の間新宿御苑に於て宮内官が一行の爲め午餐會を開いてくれました、世子殿下は益々御壯健に亘らせられ目下の處御體量十八貫を越ゆる偉丈夫の御體を拜し參らせて喜悦に堪へざる次第で御學力も他に秀で七百人ばかりの士官學校生徒の内で

◇二十番を下らぬ程の成績

であります日光から東京へ踰つた折世子殿下には沼津から歸京され水泳の練習と測圖の御實習を遊ばされて居ります今は皆長位の資格で今年十二月士官候補生に任官相成る事とて一層御勉勵遊ばされて居ります。學校の寄宿舍に居る間は他の生徒とは別建物の家とは云ふものの御生活は極めて簡素で少しも他の生徒と異つて居りませぬ、世子殿下の御嗜好はピヤノと玉突と乘馬とでありますがピアノは取わけて御堪能で在らせられます、梨本宮女王殿下との御婚儀に就ては世子殿下とは勿論何にも御話しは致しませんまた宮内省の方へもまだ

◇公けに成つて居らない事

でありますから表向きに御挨拶は致しませんが總督始め宮内省當路の人々で今回世子殿下御婚儀内約と御勅許を經るまでに御骨折りをして下された方に對して懇ろに謝意を述べました處です朝鮮に留かせらる梨本宮の事に就てはまだ確に極まつて居らぬ樣な模樣にて具體的に何にも承はつて居りません、東京に五日日光に二日居りましたが殆ど毎日の雨で閉口して居りました

猛虎と引組む憲兵上等兵

谿間に轉がり落ちて毆り殺す

咸鏡南道三水郡地方は猛虎の巣窟にて人畜の被害少からず數日前三水郡三西面憲兵出張所を去る三十丁の山中に猛虎現はれ民家を襲ひ牡牛

▲一頭を咬殺しつゝありとの急報に同所の石田憲兵上等兵が數名の補助員と共に猛虎を追擊し約一百五十米突の近距離にて狙擊したるに彈丸は急所を外れ只だ一と咬みと飛び込み來りたれば上等兵始め補助員一同は筒口揃へて一齊射擊をなしたるも森林中とて命中せず猛虎は十數間先に迫りたるより木の間を縫ふて猛虎を避け居たる内忽然石田上等兵の脚下に迫り長軀を躍らして飛び懸りたれば上等兵は今は是までと銃を投げすてて

▲猛虎に組付き共に數丈の谿間に轉げ落ち其の際上等兵は面部胸部及び頭部を咬傷せられたるも何れも急所を外れ血潮を浴びながら猛虎の上下兩腮に兩手をかけ上を下へと絡み合ひたる折柄氏の危急を救はんと馳付けたる補助員は銃を虎の口中に突付けたれば石田は漸く兩手の自由を得遂に其場に毆り殺したりと、は加藤清正以上の勇士と土地の鮮人共は懲き居れり因みに上等兵は目下分遣所にて治療中なりと

乘客停留

虎疫發生地經由者檢疫嚴重

長崎の虎疫猖獗と共に大阪地方も日に增し流行地となりたれば當釜山港にては長崎方面の渡來上陸客と同樣廿三日の入港連絡船高麗丸より大阪市及び同市接續の地より渡來の者に對し矢張出發日時より起算の上五日間の強制停留を神仙臺檢疫所に收容すべしと尚橫濱の虎疫は東京方面に侵入なしつゝあるを以て若し東京市に入らば已むを得ず同地出發者に對しても同樣の防疫方法を施行すべし(釜山特電)

▼長崎經由渡鮮者異狀なし

去る十九日信濃川丸にて長崎より釜山に上陸なしたる乘船客十七名に對し海港檢疫の爲め強制停留を命じ松本旅館に滯在せしめたる者は二十二日午後十時を以て規定の期間に滿ちたるが何等異狀なく健康狀態なりしを以て同夜其れ〲目的地に出發せりと(釜山支局)

▼元山防疫勵行

直接内地方面との交通地點に在る元山港に於ては昨今内地各所コレラの流行に伴ひ其の豫防方法として海路方面の檢疫頗る嚴重となり長崎神戶大阪直航汽船の如き一々其の出發地點及び通行地を糺し虎疫流行地發又は通行者に對しては危險地域出發後五日を經過せざるものは上陸せしめず必ず五日を經過するまで檢疫所に留め置くべしといふ有樣にて外國船は悉く港外に於て檢疫終りたる後ならでは入港せしめざるが如し(元山支局)

蔚山郡方魚津の疑似虎疫 續報

檢病的戶口調査

昨紙記載の蔚山方魚津に於ける疑似虎列拉患者其後の狀報に依れば發病者は同地在住の内地人娼妓にして二十日午後八時頃より十五回の下痢を爲し二十一日午後七時死亡せしが其の間に於ける症狀は嘔吐なく脈搏微弱にして且結滯し皮膚彈力なく其の症狀虎列拉の疑ひあるを以て同地警察署は系統調査の大活動を開始し遊客の身元及び身體檢査を行ひたるが何等據る所なく若し陸上に虎疫患者生じたりとせば同地碇泊漁船にも疑似患者あるべしと極力調査せしも之れ又何等得る所無かりしも警察にては檢病的戶口調査を行ひ汚物を釜山檢疫所に送致せり廿四日午前六時に至らば黴菌の有無判明する筈なり

談合事件判決言渡

小林以下有罪 被告孰も控訴

劈頭より天下の耳目を聳動せしめたる京釜線鐵道工事談合事件判決言渡しの當日なる二十三日の大邱地方法院公判廷には早朝より關係者傍聽人等續々と詰めかけたるが小林長兵衛以下の被告一同入廷と同時に西山裁判長以下各判官の著席あり被告傍聽人一同固唾を呑んで待つ間も無く判決言渡しありたり(大邱特電)

△無罪 岡田金之助

△懲役十箇月 小林長兵衛

今井行平 片村庄次郎 津田辰次郎 浦田多喜人 岩瀨靜 高畑興吉 澤重元 荒砂定吉 土屋敬壽 山崎甚八 龜割安藏 柴田合五郎 佐藤兵一 福村篤 鈴木權次郎 三島辰二 兒玉塚

△懲役六箇月

右判決に對して小林以下十七名は直に各辯護士を經て控訴を申出たり

□そぞろあるき(五)

▲帽子と洗濯屋 素敵に風の强い日の午後だつた。大和町の頭に浴うたヒヨロ長いポプラの樹が、今にも折れさうに撓つて、朝鮮ホテルの家根の天邊の旗が千切れて飛びさうなのを面白さうに見上げながら、長谷川町の通りを歩いてゆく男があつた。頭を氣にしては時々手を當てゝ見るのに氣を着けるその戴いてある帽子はまだ新らしかつた。それ程大切にしてある帽子も遂ひに烈風には勝てず、どうした機みにかヒラ〳〵と舞ひ上がつた。呀ツと驚ろいてその男が追つかける頭には新調の帽子は町の片側でせつせと洗ひ物をしてゐた年增女の盥の中へ突入した。息せき切つて驅けつけた男が見ると『帽子の洗濯ならお斷りですよ』と指した女は洒落者隣りは此頃出來た洗濯和洋洗濯一切帽子洋服色揚など記した看板が出てゐた(とみ)

氣が狂つて大金を拐帶

懸賞付の家出人

本月七日釜山警察署へ向け搜索方電報を以て照會ありたる大阪西區市岡町七百六十四番地松本電機製作所主松本榮三(三七)は頃日來精神に異狀を呈し妻勇子(三五)長女花子(八)を連れ大金を拐帶の上無斷家出し行方不明となりたるが本月五日頃大阪出帆の立神丸にて渡鮮したる形跡ありとて釜山署にては同船の投索を爲せしも發見せず其趣きを實父守藏に通知せしに今回更に寫眞及び本人の技術等につき注意すべき點を添付し願ひ出でたるが今後發見者には謝禮として[illegible]圓を贈るべしと(釜山支局)

漁船で足拔き

平安南道江西郡赤松面殺新里料理店栗原惣吉方抱ね酌婦本籍福島縣安積郡山野村大字高倉岸野とみ(二九)は本年一月頃より同家に雇はれ居りたるが五月頃より折々通ひ來る漁夫峰松儀(三〇)と馴染となり七月中二度も足拔せんとしたるも其都度抱主に發見され其意を果さとりしが去る十七日午前十時頃情夫なる峰松儀と共謀し樓主の隙を窺ひ漁船に乘じて何處ともなくドロンを極め込たり

五歳の少年

二百圓の時計を拾つて屆け出づ

龍山元町一丁目吳明善長男惡鎭(五)は十三日午後同町路上善隣商業學校入口の井戶附近にて遊歩中白金製鎖附金側懷中時計一個(時價二百圓)を拾得し自宅に持ち歸へり父に示したるより明善は早速龍山憲兵分隊に屆出でたるが二十一日に至り右は朝鮮銀行員某氏の遺失したるものと判明し遺失主は憲兵隊の手を經て惡鎭に報勞金三十圓を贈與したり

フイルム二千尺燒失す

瓢舘出火後報

二十二日夜仁川活動寫眞常設舘瓢舘機械室より失火したるも直ちに消止め大事に至らずして事濟みたる事は逸早く朝刊所載の通りなるが今失火の原因に就き聞くに同室助手金魯憲なるもの寫眞掛替に際し電氣アークの火蓋をなす事を失念したる爲めフイルムに燃燒したるものなりと多數の觀客を收容する活動常設舘にては注意すべき事なり今回の燒失フイルムは二千尺にして損害價格四百圓なり

夜市待合室荒しの掏摸

京城松峴洞林孫蝎(二七)は同洞嬉草老馬(一七)と惡友となりたるが此の三名は何れも前科者にして共謀の上本年五月以降掏摸を初め京城を驅け廻り[illegible]明治町夜市等を[illegible]に龍山驛待合室等にて[illegible]より掏り取りたる[illegible]京城に[illegible]居りしを[illegible]の手に取押へられ取調べの上檢事局へ送られたり

兄の茶碗に毒

良心に耻て自首

全南長興郡長興面沙岸里金翡莖(三六)は大正三年十二月二十八日同居中なる實兄の金基求に金の調達方を依賴したるに兄は弟が素行不良なるより之を拒絶したるを根に持ち兄を殺して財產を橫領せんと企て其の機を窺ひ居る内昨年十二月二十八日夕刻兄の妻金松亭が夕飯の仕度をなし夫基求の長興市場より歸宅するを待ち居れる際密に其庭飯の中に苛性曹達を混入し置きたるを同夜十一時頃歸宅したる基求が飯の變色せるを發見して之を食はざりし爲め基臺は其場を逃走し爾來行衞不明中の所良心の苛責に堪へず數日前其筋に自首したるより目下取調中

讀者文藝 (一等には五十錢の商品券を呈す)

▽謎「傳染病蔓延と掛けて」

○富國策と解く心は貿易(防疫)が肝要(一等) 金泉 木下凡太郎

▲大洪水と解く心は行過通關の箇所が多い 深川 耕

▲假家電燈と解く心は中樹接觸(注意深生)す 釜山 三中井坊

▲川中島合戰の名將と解く心は謙信(檢診)が矢鱈しい 京城 石川生

▲風俗壞亂治安妨害の刊行物と解く心は局力入口を防止す 京城 披露志

▲課題及募集規定は欄外にあり

談合事件と鐵道局

請負人十八名の入札指名停止

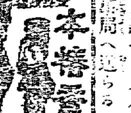
京釜線改良工事二工區の入札に方り入札金額の談合を爲したる請負人十八名には今回鐵道局に於ては行政處分として關係請負人一同に對し無期限に入札指名を停止せり(大邱特電)

女房殺の押送

京義線沙里院本籍和歌山縣那賀郡長田村生れ神保傳太郎は既報の如く内縁の妻同郡長田村森上よねを八月十日殺害し自分は自殺の目的を以て腹せしも死にきれず入院治療中の處全癒せるより八月二十二日沙里院憲兵分遣所より瑞興憲兵支隊へ押送さる

醬油代で遊興

群馬縣高崎市[illegible]町鮮藏丸山三平(二八)は[illegible]町納名上田事鄭福根(三〇)の兩人は本年六月[illegible]本町丸大醬油店に[illegible]醬油買掛代金[illegible]を[illegible]し二人にて一斗の醬油[illegible]七月九日午後九時頃[illegible]して[illegible]の上八月二十一日京城地方法院檢事局へ送らる



情を明して

京城讓洞生れの馬壁提(二三)は前科二犯あり松峴洞生れの孫貞福(二十)と共に目下工事中なる南大門通りの道路修繕人夫として土木局京城出張所の手に雇はれ中八月十二日午後五時頃工事中の目を偸み工事場の倉庫より車輪一個を窃取し情を明して竹添町三丁目居住の古物商金淵用(四十)同李内岩(三七)の兩名に賣却し兩名は贓品と知りつゝ西小門町の支那人鐵治屋に更に轉賣したる爲何れも本町署に引致さる

惡い賣子

京城林町居住尹善仁(一九)は礎智洞菓子商咸聖賢方に賣子として雇はれ中五月以降七月末迄に前後數十回に亘り錢箱より三十八圓を窃取して娼家遊びをなし檢擧せられて留九十の處分となる

宿泊して竊盜

京城昌信洞禮學來(三十)は七月二十四日夜知己なる黃金町三丁目洋靴店前田方へ宿泊し靴底用護謨八枚を竊取し翌日昭格洞の靴商李九臺に賣却して本町署に引致さる

豪雨中に轢死

平南平原郡東頭面[illegible]白里三統九戶洪鄕珍妻金昌珍(一九)は八月十八日午後二時頃順安面京義線鐵道線路上を通行中折柄强雨に襲はれ列車の進行し來るに氣附かず列車に觸れ轢死を遂げたり

演藝案内

大正館 電話八七三

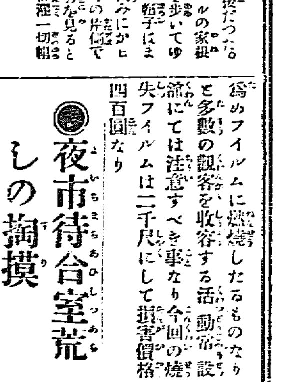
御成座 武町 電話一九一

壽座 京城壽町 電話九七八番

黄金館 電話一八五二 二六三七

産婦人科 本院 京城旭町一丁目 電話一二三四番 診察午後 分院 龍山漢江通(柳町) 電話一〇六番 診察午前 中央婦人病院 院主 衣笠

農業家に告す 一、粉煙草 殺蟲用 一、米ぬか 肥料用 各壹千名に限り大安賣 京城鍾路四丁目七六番地 允共益商會 電話一六八五番



パール (世界的) 煉香油 (萬人向)

髪の培養にパール煉香油をおつかひになれば黒くつやを增し房々と軟かに其芳香は又格別です

本舖東京 平尾銑也商店 關西代理店大阪 平尾賛平支店

課題及募集規程 ▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は住所氏名

天氣 晴一時曇

●警戒すべき

虎列拉病

△飲食物に十二分の注意
△生の魚類など食べぬこと

◇布哇丸が怖しい虎列剌病を齎して以來病毒は瞬く間に長崎、横濱、神戸、大阪に蔓延し朝鮮にも方魚津に疑似患者があるといふとです此際各自十分に警戒しなければなりません

◇其の傳染系統を調て見ますと、布哇丸の病菌は海中に捨てられた糞便等に附着して居たのを魚が喰ひ、其の病菌の附着した魚を漁獲して喰べたのが原因で病菌は意外の遊から侵入して來ます

◇此の場合各自の注意すべきことは雎飲食物に十二分の注意を拂ふことで生の魚類などは絶對に食べぬこと焼き魚でも尾とか鰭とか腮の間とか火の通らぬ處に菌が附着し易いから其れに觸れゝば矢張傳染するのですから魚類は必ず一旦煮て食べるやうにするのです

◇また暴飲暴食して胃腸を害ふ時は斯る病毒に犯され易く、若し胃腸が健全ならば例ひ病毒が入つても決して發病するやうなことはありません

頃日流行の小供相撲

●百濟時代の藤 と云ひ傳へられた扶餘の名木

忠清南道扶餘の地は今から一千有餘年前の百濟の舊都であるが同地には珍らしくも百濟時代から遺つた巨大な一株の藤がある、藤の樹は扶餘郡庶務主任佐々木氏の邸内にありて位置は歴史に有名な半月山城の麓南向きの小高き所にある猶邸の裏には此のあたりに珍らしき竹籔繁茂し藤は大なる濶葉樹の巨幹にからまつて居る、猶枝の擴れる面積は凡そ六七十坪にて幹の太さは經一尺に餘り頗る美事なものであるされば花時にもなれば見物人引もきらず其のゆかりの色の花房に舊都の歴史を偲ぶ者が尠くないと

●夏季講習會 △京城高等女學校にて

京城高等女學校同窓會主催の夏季講習會は廿八日(月曜日)廿九日(火曜日)の兩日午前九時より同十二時まで學校内にて開催、講師は京城學校組合校醫羽田公太郎氏にして講習事項は一般衛生講話の他に急病急救法の講話ある筈猶ほその細目は創傷救急法、腦震盪、卒倒、日射病、火傷、凍傷、蟲類その他の咬刺傷、初生兒假死、小兒急癇、小兒吐瀉病、中毒、腸チブス、コレラ、赤痢、育兒衛生雜話等にして會員外の婦人にても會員の紹介ある方に限り入會自由なり尚ほ希望者は廿六日まで同校宛御申込の事

●活花の挿替へ 一般家庭の應接間や客座等に日常美しい花を挿し替へる爲めに今回清香會といふものが出來ました會費は一箇月五十錢、一圓、一圓五十錢、三圓の内何れか一つをお選びになれば一箇月五回乃至十回に亙り美しい花を挿し替へて呉れます申込所は府内光熙門近なる東四軒町百花園

…十四番地酒醤油商小森猪之助方に於て販賣する神戸市…納町布引鑛泉所製造にかゝる布引サイダーは試驗の結果サポニンを含有し居る事を發見…

…上に於て無料揮毫をなす筈なり

●日蓮主義講演 仁川寺日蓮宗妙覺寺に於て開催したる日蓮宗布教師滿鮮巡教團一行の日蓮主義大講演會は二十一二日の兩日に亘り午後八時開會したるが初日は時頭黒田惠海師開…に次いで小根澤義山師の『力の宗教』藤田泰學師の『日蓮主義大觀』藤井教證師の『大聖日蓮主義と人生』等あり翌二十二日は藤井教證師の『日蓮主義と人生』小根澤義山師の『不識天月但粗地月』藤田泰學師の『謗逆けれは流れ長し』等の講演ありたり

婦人界消息

△鮎貝こだま(鮎貝房之進氏夫人) 病氣の爲め去月中より原山に避暑せり近く歸京の筈
△淸水久子(京城高等女學校卒業生) 十三日龍山の自宅にて逝去
△伊藤よね子(高女一年生) 腸チブスにて總督醫院へ入院されました

神社とお寺と教會

○東本願寺(南山町) 十三日午後八時より信友會ありて内明學の講話あり
○布教院(本町三) 二十五日午後八時より說教人會合あり
○曹洞宗(若草町) 二十四日午後八時より地藏講法話及說教ある由
○祇園寺(旭町三) 二十三日午後八時より月次祭あり
○妙心寺(長沙洞) 二十四日午後一時より地藏講師の說教あり
○成身院(旭町二) 二十三日午後六時より乳地藏緣祭り他に百川通師の供養あり

—△會のいろ〳〵▽—

□好地由太郎氏講演會 二十三日午後八時より鍾路靑年會館にて開催すべく同氏は少時殺人犯の爲め前後二十三年間の監獄生活を送りしが一朝悔悟によりて復活せし人なりと

□柔道秋期大會 本町警察署内なる講道館柔道研究所にては渡邊三段川中磯見兩二段稲天野水越三上の四段等の指導の下に會員五十餘名毎晩熱烈なる稽古を致し居れるが近々中に秋期大會を催す由

子供の洋服 は今が一番お誂へ時

秋の子供洋服は、落ろ季節が短い時でもあり大概は春の洋服でお間に合せになるやうです、春の服の少し黒ずんだ色氣の物なら結構お間に合ひませう、唯丈を裏返するとか袖を直すとか丈を伸ばすとかすれば結構でせう、其手間賃は仕事に依りけりですが、先づ三四圓から一圓内外で出來ます、新らしくお誂へになりますとすれば、小さいお嬢さま向には矢張り紺とか茶とか其他一體に黒ずんだ色氣の無地なり縞なりが宜しいでせう、セル地ならば七圓五十錢から十圓、五尺八丈に似たポプリン若くはチル地ならば、四五圓で出來ます、秋の新學期へお通ひになる七ツ八ツのお坊ちやまに、バンド無しの新セルかヘルの無地又は縞でダブルの詰襟が矢張り流行でもありお似合になりませう、之は七圓五十錢から十圓迄で出來ます、六ツ位の小さいお坊ちやまのには、お嬢さまのと略同じ物で三圓五十錢位ならば結構に出來ます

◎平壤學校授業開始 夏期休學中なりし平壤府立高等小學同分校同師範附屬學校第一第二普通學校同女子普通學校等は何れも廿一日より授業を開始せり

◎平壤中學校長歸校 平壤中學校長赤木萬次郎氏は曩て平北義州に於ける平北小學及び普通學校會議に出張中のところ十九日歸壤せり

◎平壤の閨秀書家 閨秀書家劉芳媛小姐女子は八月十八日より平壤西館旅館に滯留中なるが近く一般有志の爲に揮毫して…

◆長芋のりまき 長芋を海苔の丈に切りて煮へ湯に入れて湯煮となしやはらかになりし時引上げて皮を庖丁か竹べらにてこすりむき鹽にだしとみりんと醤油と煮立てたる中に入れて煮つまるまでたき皿に上げてさまし燒き海苔をあぶりて簀の上に置き前の芋をのせてくる〳〵とまき一寸程に切りて用ふ(青木はつ子)

番茶のあとさき

京城基督教靑年會館内に設けられたユニオン、カレツヂの教頭高井文學士はこれまで簡易生活を以て有名な人であるが△いつも澄せた人を見る毎に君は御飯を喰ひ過ぎるから不可かんといふ△そして自分には食慾の無い時は決して喰はぬ主義で平素朝食は一切廢止して居る△ところが近來は身體が益々肥り躰量二十五貫のお腹は狸の腹鼓よろしくとなつて居る△然るに去る集會の席上で他所の奥さんがつく〳〵高井さんの腹に感伏し貴下は何を懐中に入れて居られるかと問うたところ△高井さん大にそり返つて『腹中たゞ有るのみポコン〳〵』

宮本武藏

第百三十八回 桃川如燕口演 浪上義三郎速記

芝札の辻でお梅を救けましたのは東海寺中妙解院に居りました岡崎左門であります、お梅は固より左門を知つて居る譯がない危難を免れまして嬉しさ 梅『お庇蔭樣で危ふい處を免れました有難うございます』 左『其れは宜かつた、シテ御身は何處へ參らるゝか』 梅『ハイ高輪まで參ります』 左『高輪なら拙者も歸途だから一緒に參らう、若しまた途中狼藉者があると不可ぬから』 梅『重ね〳〵の御親切有難う存じます、お連れ下さいますれば此樣な心強い事はございません』 左『何にしても惡い奴が多いから油斷は出來ぬ』とお梅を親切に劬はりまして高輪南町まで參りました 左『御身の宅は此邊か』 梅『此先の横町を曲りまして三ツ目の路次を入りました隅の家でございます』 左『宜しい送り届けて進せやう』 梅『有難う存じます』 左門お梅を連れて路次を入つて一番奥の井戸の前へ來た、此邊は一體に貧家であります、お梅が 梅『アノ宅は此所でございます』ドンドン〳〵 梅『お父さん〳〵』 儀『何だ、誰だい今時分戸を叩くのは』 梅『妾でございます』 儀『誰たい』 梅『梅ですよ』 梅が參りました 儀『何だお梅だ、己れり娘のお梅か』 梅『ホヽヽ、[illegible]お梅といふものはありません、どうぞ此所を開けて下さい』 儀『待て〳〵、今開けて遣るから』周章ました儀兵衛、土間へ下りて表の戸を開けると娘のお梅は結立つて居る 儀『イヨー、お梅か、什麼して今時分歸つて來た』 梅『お父さん之には種々事情があること、まア何を措いても一寸お禮を申上げて下さい』 儀『お禮を言へつて誰に』 梅『アノ今妾が此處へ來る途中札の辻で惡い駕籠屋に捉まつて、酷い目に逢ふ處を、此御方がお通り懸り、妾を救けて下さいました、妾のためには生命の親、御恩になつた方でございますからお父さんお禮を申上げて下さい』 左『イヤ別に禮には及はん、其では送り届けたから拙者は歸ろ』 儀『マア〳〵お待下すつて何誰樣かは存じませんが能く娘をお救け下さいました、お禮を申上げたう存じますが什麼ぞ此方へお上り遊ばして』 左『イヤ拙者は何うしては居られん、夜更であるから此儘……』 儀『デもございませうが此方へ』 梅『アノ洵に相濟みませんが父は昔氣質でございますから、お禮を申上げなければ氣が濟みませんので、其れに亦妾が今頃戻りましても途中の話をいたしますと心配をいたしますから一寸お上り遊ばして父に氣の休まりますやう御聞けを願ひ度う存じます』 左『成程尤もな話だ、其れでは一應話を致さう、許せ』とズツと上る見る影もない貧家でございますが主人の儀兵衛、行儀正しく畏まつて兩手を突き 儀『委しい仔細は存じませんが、娘の大難をお救け下さいました御恩人、私は元神田白壁町に染物屋渡世を致して居りました根本儀兵衛と申しますもの、之れは娘で梅と申します、一昨年火事に逢ひまして、其れからと申しますものは不幸つゞき、只今は御覧の通り見る蔭もなく零落れて了ひまして一人娘のお梅さへ、手放しますやうになり、惡い奴に騙されて吉原へ身を沈めたといふ事は娘の手紙で分りました其れから一年餘音沙汰もなく尋ねたいにも其日に追はれまして思ふ樣に參りません、[illegible]案じて居りました、今晩娘が二年ぶりで歸りましたやうな次第』 左『ア、御主人一寸お待下さい』 儀『ハイ』 左『只今のお話で神田白壁町染物屋儀兵衛と申されるは其許か』 儀『左樣でございます』 左『ア、漸く知れた、拙者は御身を尋ねて居た』 儀『私を御存じの貴方樣は』 左『御身の弟に作内といふものがあるな』 儀『ヘエございます、其作内は豫州廣島淺野樣の御家中で岡崎織部樣といふ御指南番の所へ御奉公いたし、お國表へ參りまして、八九年に相成ります、三年前に手紙が參りましたが結構な御主人を持當てたから安心して呉れと書いて寄越しましたが、其れを什麼して御存じで』 左『其作内は拙者の家來、岡崎織部の倅左門と申すは拙者である』 儀『エッ其れでは貴方は御主人の若樣』 左『お前は作内の兄であつたか、道理で顔も瓜二ツ、懐かしく思ふぞ』

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目(金光教會前)
安部醫院
電話(二)一九〇

八月廿五日九星
舊七月廿七日甲午
本命九紫 南 開 先負

▲九紫● 身體負擔の事多き日新事見合西方は吉方の劍南▲一白● 疝癪の起る日謹て新事手控然事は吉行儀作法を守らるべし▲二黑● 僅か勘定の事よき日轉居入學金件名弘出張求職婚禮留藥等皆吉▲三碧● 餘裕ある日轉居旅行入學名弘求職旅行上婚姻取合資薬を始る等萬吉▲四綠● 順調の日轉居行商入學求職家作名弘探職於縮縮▲五黃● 福德の日轉居入門等皆吉女子の惡はぬ良緣を得る等▲六白● 改進で吉符人來る▲六白 あやしき事有る日新事手控萬事は吉衛生に注意せらるべし▲七赤● 絆され安き日新事手控帶の事は吉女子は一層用心せらるべし▲八白● 躁擾よき日轉居旅行入學名弘求職建築金談婚姻訴訟の和を計る等萬吉

商況

東京株式特電

[illegible]

債券現物特電

[illegible]

公債直取引

[illegible]

深川在米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

雜報

●冬織物高見越 各產地共漸次冬物に切替りしとはいへ未だ時日の淺きこと、て十分の出廻りを見るに至らず品物不揃ひの現狀なるが買人は前途の高見越にて五月中旬頃より各產地さし何れも取引行はれつゝある

●糸共高氣配 なると前途の好望氣構へとにて賣人一層氣勢強く只管高値を主張せるより買人も無理の高値は買進みかね睨み合の姿なりといふ然れども相場は依然手堅く前年の昨今に比すれば綿糸は一割五分乃至二割高品に依りては二割五分高の見當なりと

●和紙類は良好 其後の商情は依然良好にて元來ならば閑散なる時期には餘日あることなればたゞ需要期にて過般來久しく不振商況を續けたる爲め各地方筋は何れも前途安見越にて買入れを手控へ居たりし結果昨今甚だしく品がすれの狀態となれるに一方供給方面たる各產地の生產額は著しく減少し殆と四割方を…

●洋釘は堅調 …

減少 …買氣は刺戟 …錢方を引上 …遂々三五十

●冬帽子高氣配

●生果類順調

下關市場

京城市米

南大門の進況

仁川現物市場

釜山市場 廿二日
▲正米(十錢安) 本邦大阪定期米も往來を持續しつゝありしも昨後場以來下押の趨勢となり本朝鮮米も十九錢との小甘き入電あり買人は依然精米筋の當用買に過ぎされ共一般に先き安を見越したる等旁々買氣引立たゝず見送りの姿にて相場は十錢安な報じ目立ちたる商談なく午前中僅かに玄米五百餘俵の商取引ありたり

生魚市場

仁川期米

▲二十二日前場 大阪天候 晴 大阪七節七十五錢高 …

仁川米豆取引所仲買人
利 仲買店
電話長九〇五番

仁川米豆取引所仲買人
三巳仲買店
電話三三三番

▲依然底強し
▲前場の手振
▲人氣稍一變
▲今筋大に賣る
▲能く賣る
▲巨大に買ふ
▲⑨筋に買ふ
▲其他の大商内
▲中先乘り替
▲取組增大ぜん
▲下げ澁ぶる
▲稍買人氣

市場寄聞

仁川米豆取引所

二十三日の十月限

北濱だより

…

夏季の下痢腹痛は
黴菌性の物多し

故に柏村博士の殺菌力あるヘルプが一番なり

夏季の下痢病は不消化と黴菌性の者多し、故に止瀉薬は醫學上殺菌力ある劑薬ならざる可からず

●然るに從來の賣藥は單純なる下痢止にして消化と殺菌に注意せし物なし

下痢は止れども腸胃を害ふとは異純なる收斂劑、又は糊などにて固めたる丸藥の受たる批難也

柏村博士創製の**ヘルプ**は

是等の缺點を考慮配劑せる最も理想の腸胃藥也

本劑の眞價認められ舊式の下痢止め劑は一掃されたり

殺菌性下痢止

定價	
十錢	二十錢
三十錢	
旅行用ポケット型	五十錢
徳用	壹圓
	貳圓五十錢

效能

●食傷●食過●時候あたり●水あたり●消化不良●寢冷●冷腹等腸胃の故障より起る■下痢腹痛■吐瀉■澁腹■腹瓦斯を止め■腸加答兒■胃加答兒を治す

ヘルプ特長

ヘルプは宮内省侍醫柏村博士の創製に係る腸胃藥にして、健胃、整腸、收斂、鎮痛、消化、殺菌、防腐の諸作用を具備する理想の良劑なれば、右の諸症に卓效あるは勿論常に少量を用ゆれば腸胃を健全ならしむ、故に惡疫流行の時又は風土病ある地域に旅行する際等は必ず常用して腸胃の健康を保護せらるべく、又家庭の常備藥として必ず缺くべからざる物なり

且ヘルプは從來の腸胃藥が糊などにて固められ却つて腸胃を害する事あるに鑑み、是を最新式の錠劑となしたれば、溶解容易、何等腸胃を害する恐れなく其奏効又迅速なり

本舗 東京日本橋本銀町三丁目 **津村敬天堂** 振替口座東京八六四番

■取次は全國到る處の藥店にあり品切の時は本舗へ■

御料 御園の月

淡泊して美しい夏のお化粧

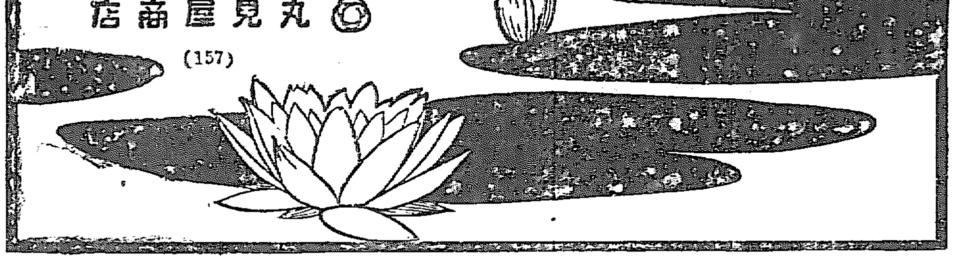
夏向きの淡泊したお化粧は、肌理を細かく滑かに白粉の着をよくする化粧水御園四季の花をお顔に塗り、其上に水白粉御園の月をお附け遊ばすに限ります。

水白粉御園の月には純白と淡紅との二種あつて、純白は晝分に、夜分又はお顔色の勝れぬ時には、ほんのりと櫻色に附く淡紅色のをお附け遊ばせ。

御料御園白粉本舗 伊東胡蝶園

御料御園白粉發賣元 丸見屋商店

(157)



ミツワ石鹸

MITSUWA SOAP

is preeminently the soap whose whole action and influence is to enhance and preserve natural beauty.

Pure in every article, and composed solely of things that cleanse, and freshen, and beautify, it is acknowledged throughout Japan as matchless for the complexion,

凡そ石鹸は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用、化粧用等各用途に從つて其種類を異にすと雖も、而かも皆等しく、遊離の亞爾加里なく、遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹸たらざるべからざるは、素より當然のことなりとす。貴重なる皮膚毛髪の洗滌に用ふべき化粧用石鹸は、啻に化學上の純石鹸たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず。

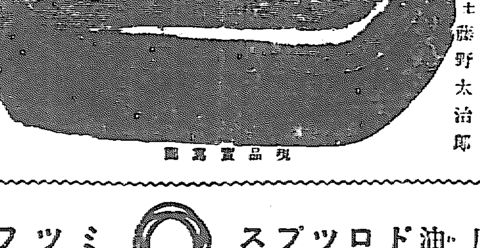
ミツワ石鹸は化學上の純石鹸たるのみならず、なほ左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に、香料に苟も刺戟を感ずべき虞れあるものを用ひず。

一、温雅の芳香を有す。

一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し。而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂なし

故に、一般の家庭に於て、浴室、化粧用として、衛生に叶ひ、經濟に合する、理想的實用品なり。



現品實寫圖

技師 工學士 藤野太治郎

種類		
大形	家庭用	定價金貳拾錢
中形	携帶用	定價金拾參錢
小形	旅行用	定價金拾錢
極小形	試驗用	定價金五錢

肝油ドロップス　ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橘町四丁目 振替東京一七〇一番 **丸見屋商店** 電話特長浪花 四四八番 四四九番 四五〇番 三〇三〇番

京城日報
廿四日朝刊 (夕刊と合せて八頁)
本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金七拾五錢 ...
廣告料 ...
發行兼編輯人 ... 印刷人 小川三之助
京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社
電話番號 ... 振替貯金口座京城三〇〇番

防疫に就て

京城日報

吾人は曩に、傳染病と各人の衛生に就て、聊か注意をなし置きたるが、不幸にして、吾人が豫言の如く、内外より東京、大阪、長崎等に輸入せられたる虎疫は、今や頗る猛烈なる傳播力を以て、各地方に猖獗を極むるに至りたりと、而も其等流行地が朝鮮とは交通貿易上、深き關係を有するを以て、當局が各地方に向つて直に嚴重なる防疫手段を取りつゝあるは、洵に當然の事にして、機宜に適したる者と云はざるべからざる也。

然れども若し夫れ虎疫をして、一度我關門を潜り、朝鮮内地に侵入せしめんか、幾何の生靈を失ひ、幾何の損害を生ずるやは、測知すべからざるものあらん、故に此の有形無形の損害を、未然に防ぐが爲には、幾何の費用を靡するも決して惜むべきに非ざるなり、啻に費用のみならず、之が爲には、幾多の勞苦をも決して回避すべきものにあらず。此の意味に於て、防疫當事者の猛斷は、國敵の侵入を防ぐと共に遲疑なし、然りと雖も、外敵を防ぐものは、國民の後援を要すると同じく、各人亦之と步調を一にして、始て其目的を遂すべきは、言を俟たざる處なりとす。

吾人は防疫當事者が、是非とも其完全なる斷行を希望し、且つ期待するものにして、之が爲或程度迄は、一般人民の交通上の不便、若くば物質的損害を生ずるとも、洵に已を得ざるの成行ならんのみ、此の怖るべき病毒を驅除するが爲には、一局部の不便、損害の如きは、殆んど顧慮するを要せざるべし。同時に一般人民が、虎疫の怖る可きことを、痛切に認め、苟くも其の豫防の妨礙と爲る可き行爲は、積極的たると、消極的たるとを問はず、各人相戒めて充分に豫防上の公德心を發揮し、法令の定むる所、並に官憲の指揮命令を重んじ、苟にも之を等閑に付せざること、此際最も肝要なるべし。今迄の經驗に依れば、私情私利の爲に、防疫事務の、目的に反する行動に出でんとするものあるは、洵に嘆ずべく、されば防疫當事者は、其の勵行を緩徐せず、既定の方針に基き、克く防疫に努め、苟も我朝鮮に對し、一人の虎疫患者をも入れしめざるは、寔に今日の急務にして、防疫方法の如きは、表面裏面共に擴張して、而して後に其目的を達すべきなり。吾人は繰り返して云はん、此の時此の際、各人は充分に、其の公德心を發揮し、上下共に、諸心防疫に、努力せざるべからざる事を。

經濟資料

朝鮮の棉花及麻類(二)

其生産の現況及び將來

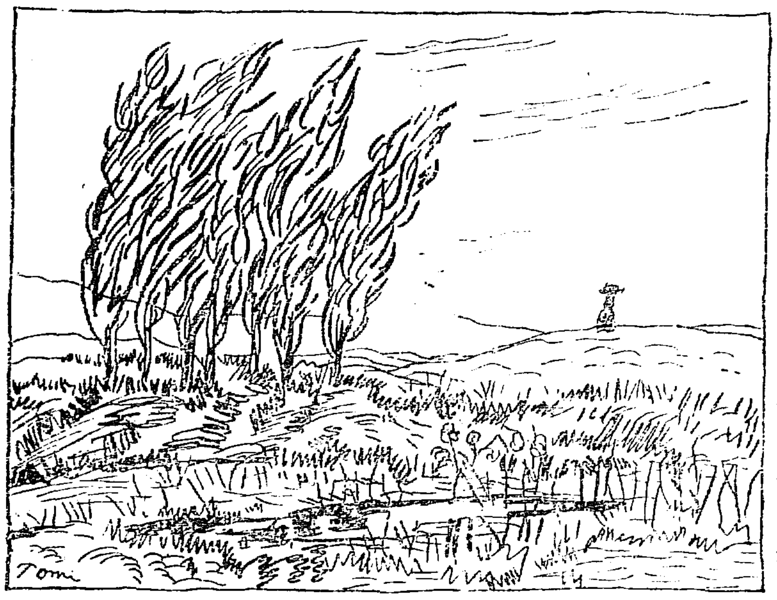
總督府調査會に於ける 中村技師口演の一節

□繰綿の移出額 昨年收穫せる陸地棉總額は二千八百餘萬斤なるが此の內木浦其の他に設立せられてゐる繰綿工場に販賣の目的をもつて廻著された數量は約千八百萬斤に上り全生產額の六割五分を占めて居る、此の外在來棉があるが其れは僅な二十餘萬斤ばかりである。是れ等の實棉が多く繰綿工場に於て繰棉せられ繰綿となつて内地へ移入せられた數量は五月末の調査に依ると六百廿萬斤となり其の價格二百萬圓を超してゐる折角出來た陸地棉が全部移出せらるゝに至らぬといふことは甚だ遺憾の次第であるが這は從來棉花を自家で消費して來つた久しい習慣がある爲めであつて今俄に生産の全部を移出せしむることは多少困難の事情がある、然し之れは將來是非とも其の全部を移出する樣努力せねばならぬと考へてゐる

□六年計畫實現 朝鮮に於て將來如何程棉作反別の擴張を見得るやといふことに就ては參考書中に棉に關する調査の中に記載の通りであるが當局に於ては大正元年に樹てた六年計畫に基き大に指導獎勵に努めてゐる、前述の如く本年の陸地棉作付反別は五萬町步であつて當初の計畫通りには進行して居ないけれども略ぼ實現せられて居るやうな次第であるから大正六年を以て擴まり得べき十萬町步の陸地棉は或は一年位は後れるやも計られぬが大正七年に至つては必ず實現を見るに相違ないと考へる。此の六年計畫に依れば陸地棉は十萬千七百七十一町、在來棉は二萬二千三百二十一町、合計十二萬四千九十二町であるさらば朝鮮に於ては最早此の數字以上棉作を擴張する餘裕は無いかといふと、未だ〳〵若干の餘地はある樣に思はれる

□九年度移出額 現在臨時土地調査局に於ては田畑の面積を詳細調査してゐるのであるが其の經過に徵すると田の面積は大した增加は見られない樣であるけれども畑の面積は著るしく增加を告げる樣である其處で此の方面及び今日まで陸地棉を獎勵し來つた實蹟に鑑みるときは畑の全面積に對する棉作の反別は六年計畫以外に二萬六千町步內外の陸地棉作付反別を增加するであらうと思はれるから、結局棉作の反別は總計十五萬二千八百町步に達せしむることを得、其の內陸地棉は十二萬八千町步を算するに至る譯である。此の十二萬八千町步から生產せらるゝ陸地棉が全部移出せらるゝものと假定する時は實棉として一億二千八百萬斤となり之れを繰綿とすれば四千四百萬斤となる、幷して前記の計算に依ると此四千四百萬斤の繰綿は大正九年から移出することが出來る譯である

□夏のをはり 石田富造筆



白蔘移入の將來

內地の需用激增

總督府の調査に依れば朝鮮產白蔘の內地移出額は大正二年に於ては僅く百五十四斤に過ぎざりしもの大正三年には四百十四斤となり大正四年に在りては一千九百三十四斤に躍進せり、而して內地に對する需給狀況を見るに本品は藥用たること勿論にして其の効能漸く一般に認識せらるゝに至りたるを以て將來益々需用を增加す可きは言を俟たず、殊に九州及び四國地方に於ては其の激增を見るの傾向あり、然れども這は一般白蔘に對する需用の增加にして朝鮮產品の獨占にあらず即ち內地に於ては信濃若代出雲等に白蔘を產し栽培後五年を經たるものにして品質形狀とも朝鮮產に彷彿たるを以て藥種商は之を朝鮮產品として販賣するのみならず近來內地產品にして却つて朝鮮に移入せらるゝものあり、之れ等は朝鮮各地に於て幾分の需用ありと雖も其の過半は京城等に於て朝鮮土產として店頭に陳列せられ旅客に依りて更に內地に逆移入せらるゝものゝ如し、斯の如く內地にては白蔘の製造及び流行甚しく紅蔘も亦信州地方より製產し價格低廉の故を以て白蔘と共に支那に仕向けらるゝもの尠からず當業者は其の聲價を顧むる爲め朝鮮人を雇入製造せしめ居れりといふ、狀況斯の如くなるを以て朝鮮白蔘は將來內地に販路を擴張すること容易にあらざる可きも其の品質極めて優良なるより價格比較的低廉なるを得ば相當の需用ある可く內地當業者の說に據るに一斤二圓以內にて仕入るゝを得ば移入税を負擔するも相當の價なりと見るの望ありと

日報詩壇

○閣分司法部長官蒞府君八十壽詩 安永春雨

家世儒門德學倫。從心所欲又逾旬。時來壽域惟厚累。世里仁民不貧蕉叟。正風暖硯松陰烈。孤鶴桐江花。息影川上悠然味。有如桃李春。椿堂萬壽健且康。請看蓬萊仙方。評曰、真情真語、藹然可掬、絕句亦佳。

原韻

人間至幸樂天倫。今歲週齡恰八旬。累世流風保族昌。一門儉德守清貧。杖師在先向東朝。國王年八神。仁者本知多壽。攝鶴史就百年春。風骨如精凝仰福。遐齡八秩尚强康。平生知是又安分。問是傳家長壽方。

日報歌壇

鈴木吉穗子選

野あげて誰が笑ひ聲あまりにも小さき淋しひびななむ。
青き水銀の音を立て流れゆく川よりぞ湧く八月の風。
豫て燃く我が魂われをふりすてゝつと走せ行きぬ浮浪上の群れ。(江原春浪 京城)

日報俳壇

雉子郎選

夏 雜

夏痩の身を運び去る夜汽車哉 青眼子
養魚池の雨や青鷺低く飛ぶ 同
犬の子の雞追ふ松葉牡丹かな 同
召集令麥を刈る手に受けにけり 同
日盛や書類擱く卓の花紅し 雉子郎
擱の花や畑人追ふて雨霽れし 山民
蜘蛛の子や名札數ある朝鮮門 同
顏知らぬ姉を迎ふや餘花の驛 同
ベル押せば主人出て來し門若葉 同
若葉雨晴れて直ぐなる町一目 同
蟬鳴くや醫師許されて斷つ藥 同
百合の影の屏に折れて見て縫止めし 同
驟雨に讀みさしたる案内なく友の來し 翠雨
千年の落ちて要居ぬ蝶の蝉 同
病 床
蚊帳吊りて月の濱に魂遊ぶ哉 薊城
簾木の月影來るや庭座敷 同
簾に白く浮ぶ面輪や蚊遣火 同
麥挨をいつか夕茶すゝりけり 同
(總督府下の一行を迎ふ)
門削や餡と日浮ぶ牡丹の戚 秋汀
政權の武門に歸せし祭かな 同
蝕燒く香厨に滿ちて土間暗し 同
麥挨かゝる小川の浮藻かな 同
俗を易へて民に悔なし日傘哉 同
住み慣れし高原の夏の月夜毎 雉子郎

◎書籍案內◎

蒙古通誌 中島竦
帝範臣軌解字解 市川鎖鴨
太陽萬年毛筆
附屬品替穗 同
同スクリップ 岡部翁介
最新漢和辭典 細川風谷
漢學速成 國山要夫
奴內藏樣話 德富健次郎
漢學樣話 須藤南翠
トルストイ 放正岡子規
法然上人句 松浦霞城
新京大納言錄 松林伯圓
兩山大感去 紅見水蔭
隨高麗誌 押川春浪
冒勇錄 石川道三
蠻漢和辭典 大宮
雀明治天皇 武田源次郎
同業平秘史文 木村鷹太郎
長者星 小杉天外
前太平記 大町桂月
朝鮮產業指針
高杉晉作 村田峰次郎
朝顏栽培法 同 不解
國民日記 民友社
三國千字文 渋澤本治郎
學理的事業法 ウィンスロー
財界の失敗論 氏野
朝鮮熟語解 朝鮮
露國武斷外交 山之井
銃獵之趣味 吉村
京城府新地圖
膠洲灣新地圖
稻田一作
同 後編
女 傳
藤公傳
名義士傳
赤穗義士談
御前講次談
伯爵處分論
滿蒙の年鑑
國民思想
理想の家
假名貞觀政要
擅球指南
富の道 べ
致富の訣
過去と妻と罪
小說村規集
懷法
朝鮮語會話
書畫家列傳
世界の變局
山水隨緣記
吉田松陰

京城太平通一丁目 京城日報社代理部 電話六六〇番 振替貯金口座京城三〇〇番

▲簿記生徒募集 短期卒業 卒業後は銀行會社商店等へ確實に就職紹介す規則書要二錢 京城明治町一丁目 京城簿記專修學校

京日案內

●店員入用 二十歲前後の者希望者來談あれ 本町 大阪屋號書店
●酒樽八石入四個至急買受度し 京城太平通二丁目 遠藤味噌醬油店
●貸金 月收の御方へ信用貸 京城御籠洞三 橫丁上る 起業舍
●大和町三丁目 京城にて多數の物品御買ひ希望者 ...
●參謀本部日露戰史 中十冊二十五圓 京城本町振武參ウツボヤ書籍店
▼新本でも古本でも他店より安く御願いたします ウツボヤ書店
藥劑御雇はれたし(姓名在社)
●外務員採用 給料手當 ...
●英國ボール 製有 ...
●身元確實なる者 月給 ...
貸 ...
入用 清州田中松川堂
凡ての列車に臨絡す 光州調自働車
入院隨意(吉野町自働車の上) 內科小兒科外科花柳病 吉野町 院主 松岡繁太郎 松岡醫院
新病人用輸送車 新著仕候御用命を乞ふ 京城總督府醫院前 電話一五八〇 山口組
自由廻轉式 ノーブル萬年筆 京城本町 ...
完全なる品質廉價にて提供す地方特約店並出張販賣員募集す
京城春川間自働車 毎日午前七時半京城發 ...
乳母入用 至急雇入れたし 本年四月頃より七月頃迄に出産せし人 永樂町二丁目 吉田商店 電話一八七一番
圍碁初心者教授 ...
京城本町三丁目入口 益田碁席
京城本町 ... 木村楳次郎
京城春川間自働車 ... 廣橋自働車
鑛物分析金石商會 鑛山測量 京城鍾路二ノ九九 電話一八九九 夫れ夫れ專任技師に依り正確迅速
恩給年金低利融通 長期即時立替 商品陳列館表門前 京城永樂町一丁目 江州屋本店

女學世界

家庭小說 良人の人柄 竹生島
富士登山から人生觀 某夫人
跡見花蹊女史の生ひ立ち 藤井瑞枝
古今賢哲一人一話 玉尾
十八歲で商界の初陣 デビュー
菜食の必要な理由
風變りの田園生活
神通力婦人列傳
長編小說 女優 田村俊子
砂の塔(其折々の感想) 與謝野晶子
胎盤の下り病合の手當 辻高
妊娠中の精神感應
學校生活三年前の手帖
生活の方法
乾燥洗濯の話(趣味科學)
道傳の話
耶蘇改宗の犧牲 西川萬里
妖怪物語 河原の魔風
八月號 定價二十三錢 郵稅二錢
東京本町 博文館

書畫珍品 家具類 夜間競賣
下見廿四日午前から午後四時迄
馬山浦に當地某家御所藏品數百點委托
右同日午後六時より即賣仕候
南山町松葉亭に於て 近藤博古堂

賀捌元 明治公債株式會社 朝鮮支部 京城大平通一丁目 ▲外務社員募集 京城府東拓會社 電話一九〇八番 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

大割引發賣 金參圓(送料共)
朝鮮產業指針
朝鮮產業の如何を知らんと欲する者は本書を讀め
一、農業、拓殖、林業、鑛業、水產、金融等を主として直接產業に關する記述書を採擇編纂したるものにして之に附加するに李王職始め重要會社と銀行の事業を以てし尙且總督府の施設を以てしたるは官と民との兩面より如何に朝鮮產業の改良發達に努力せられつゝあるかを、最も的確に最完全に紹介せり
之れ當業者が幾多の心血を注ぎ資財を拋ち千辛萬難を冒かし經營せる自家事業に對する實驗的叙述にして然も該叙述が同一事業にして人の性質土地により方法を異にし、各特色を發揮したるが如き又た其の事業の朝鮮の凡ゆる階級に提供しこれを母國に問ひ、之れを臺灣滿洲に勿論廣く世界に示し植民地の事業振興上絕好の參考資料たるを疑はず本社茲に視る處あり朝鮮產業に志す士に對し廣く之を提供すべく大割引を以て發賣す此の機を逸せず是非共一本を机上に備へられよ
洋裝クロース上製 紙數千四百七十頁 水產物產林適地一覽圖
大阪屋號書店

法律問答
京城高等普通學校教諭 阪上綱吉先生著 定價四拾錢 郵稅四錢
朝鮮諸官廳受驗者必讀 附朝鮮行政法規概要
本書は曩に發行したる法律講義の姉妹篇にして特殊の研究を要し最も困難なる口述試驗に應ずる參考に供する爲め既に提出せられたる問題及試驗官及受驗者の問答に擬して著はされたるものなれば讀者をして直に人材登用の門に入るの資格を備へしむ
京城本町一丁目 大阪屋號書店 振替口座七八二番

各國時計 自轉車 蓄音器
直輸入 卸商 喜多金光堂
京城黃金町二丁目(電話一〇一五番)

大阪株式 二二八、五〇
大阪期米 後場高限止め十四圓七十六錢 ▲中限止め十五圓十九錢 ▲先限止め十五圓二十一錢
仁川米豆取引所 一四、五〇 一五、二七
▲依然底强し 前場小堅き擬先天候二十四錢にて ...
▲今買退き手 ...
▲現物界 ...
二十三日の十月限 ...

○積極的方針を排す
一方帝國の主張を飽迄貫徹

二十三日永田町首相官邸に於て定例閣議を開き首相以下各大臣全部參集し劈頭石井外相より歐洲戰亂の經過並に過般鄭家屯に於ける支那兵の暴行事件に關し詳細なる報告を爲し次で大島陸相より臨機の處置を執りたる顛末に就き報告する處あり後各相意見交換の結果此際積極的外交方針を避け而も帝國の主張す可き權利は飽迄貫徹し今後の態度に就きても嚴に戒飭する事に決定したるもの〻如し尚ほ當日の閣議の結果は外務省の手を經て林駐支公使に電訓を發せり（東京特電）

○日本軍撤去方を電請
三地を占領されて交渉員を急派す

張督軍は我軍が鄭家屯及び八面城四平街を占領せるに驚き交渉員馬廷亮を急派したるが一方政府に對し速かに日本公使に其撤去方を嚴談す可く電請す（奉天特電）

○外交部派遣員到る
支那外交部より派遣せし調査委員方肥年は二十二日夜來張奉天督軍と密議し二十三日我領事館を訪ふて種々懇願し同夜鄭家屯に向ふ（奉天特電）

○蒙軍を一擧に撃破せん
日本の不干渉を求め來る

官蒙軍休戰問題は目下官軍優勢なるを以て張作霖は之を欲せず一擧蒙軍を撃破せんと欲し日本の干渉せざる樣奉天總領事に談判せり（奉天特電）

○外交總長不日發表
北京政府は不日陸徵祥の外交總長任命を發表すべし但し國會にては氏を以て袁氏時代民黨を苦しめたる官僚政治家なりとし其の就任を喜ばず反對の色あり温宗堯を推さんと計畫しつ〻あり（北京特電）

○井上大使歸朝談
英皇帝第三回出陣

二十二日倫敦より歸朝したる特命全權大使侯爵井上勝之助氏は往訪の記者に語つて曰く予の英國駐剳を命ぜられたるは今より四年半前にて歐洲戰爭勃發以前なりき戰亂勃發以來此の三年間及び戰前一年有半餘の歲月間には少なからざる重要事件に遭遇せり予は英國出帆十日前 兩陛下に謁見仰付けられたるが陛下には予等夫妻のため特に晩餐を賜はりたり其の際陛下には戰爭に關し親しく負傷兵の手當等に付御物語りありたり陛下には既に二回迄戰場に臨ませられ御負傷さへ遊ばされたる程にて其の御物語は極めて微細に亙り唯々驚くの外なかりき又陛下には近く第三回の御出陣あらせらるる由なるが陛下の御出陣は極めて有益にて啻に英軍の爲めのみならず佛軍の士氣を鼓舞する上に於て非常なる力を與へ居れり今や英國の上下は擧つて獨逸を膺懲せずんば止まずとの意氣を以て充され愛蘭問題の如き難問題も國家の浮沈に關する此の戰亂の前に對しては何事も無く圓滿に解決され居れり又最近締結せられたる日露協約に對しては日英同盟と共に世界の平和を形作る者なりとて好感を以て迎へられ居れり云々（東京電話）

○海事調査組織
設置の趣旨 [illegible]如くなるが今同會の組織內容に付き聞知する所に據れば蓋し海運の如く本邦に於て此種の會合は政府が中心となり組織の任に當らざれば困難なることゝせり而して該機關を遞信大臣の所管に屬せしめ遞信省より關係官[illegible]造船業者及び[illegible]員等を以て組織し委員は通常相當員數の常任的委員を設け[illegible]

○洪牙利議會混亂
洪牙利は議會に於て益々制御し難き混亂の光景を演出しつ〻あり議員等は露軍の前進に就ての報道を發表せよと要求しつ〻あり（倫敦電報）

○米國海運官營決定
米國政府は海運業を官營と爲す事と決定し愈其成立を告げたるが之れ爲め我海運界は尠からざる打擊を被るべし（東京電報）

○孫文就任辭退
孫逸仙は總統府高等顧問に推薦を受けたるも辭任せり（北京電報）

○戰後行賞調査
日獨戰爭に關する各官衙高等官同待遇の行賞は去る十九日全部發表を終了したるが尚ほ同戰爭に關係ある各官廳各府縣判任官及兵事務に從事したる各府縣市町村長並に民間功勞者其他行賞漏れの者約二萬に對し引續き賞勳局に於て戰功調査中なるが發表期は未定なるも本年中には全部終了すべしと（東京特電）

○暹國軍艦註文
暹羅國より這回川崎造船所に對し巡洋艦一隻建造方註文あり右契約成立し引渡は多分明後年となる可しと（東京特電）

○武藤氏勳章拜辭
曩に竹越前代議士高木（益太郎）代議士の敍勳拜辭ありたるが武藤代議士も二十二日勳章拜辭願を波多野宮相に提出し一方島田議長に對し拜辭取扱ひ方を依賴せり（東京特電）

○日滿連絡成績
六月中に於ける（續）

▲局線發南滿東清線著貨物　南滿線著數量五千六百三十六噸東清線著數量二百六十二噸計五千八百九十八噸にして前年同月と比較するときは南滿線著數量四千二百十三噸東清線著百八十二噸の增加を示せり南滿線著數量の增加は米、木材等の多數輸送ありたるが上に前年皆無なりし新安州發木溪湖に至る銑鐵石三千六百四十四噸の出荷ありたるに因る又東清線著貨物は例月の通り全部米にして鎭南浦新義州發のもの多數を占む主なる品種の數量を擧ぐれば木材千百三十噸、鑛石三千六百四十四噸、米五百四十三噸等なり

▲南滿東清線發院線著　東清線發貨物は前年と同樣皆無なりしも從來微々たりし南滿線發貨物は豆粕の出荷旺盛なりし前月一躍三千八百餘噸に上り更に本月は六千四百五十九噸を算せり這は前月と同じく[illegible]不足の爲め奉天以北並に安東方面より主として九州地方に輸送する豆粕の鐵道便に依るもの著しく增加せるに依る其主なる品種を擧ぐれば豆粕六千四十噸大豆二百七十五噸小豆八十噸等なり

▲南滿東清線發局線著貨物　東清線發貨物は昨今兩年共出荷なく南滿線發數量は一萬三千三百八十四噸にして前年同月に比較し二百四十六噸の增加を示せり右の增加は前年と同樣鮮米代用として二千三百十九噸の輸送ありたる粟は本年僅に四噸に過ぎざるも石炭、木材、小豆等の荷動好況なりし爲め如上の增加を示せるものとす輸送品種の主なるものは石炭一萬四百七十六噸木材千五百九十七噸小豆四百九十噸穀粉百四十五噸金屬器百二十噸豆粕八十噸鑛石七十八噸セメント七十三噸燐寸瓦二十七噸粟四噸等なりとす

要之本月に於ける成績は一般に好況を呈し就中局線發南滿線著貨物及び南滿線發院線著貨物は前年に比し非常なる增加を示せり後者の大部を占むる豆粕は內地に於ける施肥期程なく一段落を告げるが故に本月を以て輸送殷賑の頂點と見るべし院線發南滿東清線著貨物は右の如き活況なきも例年に對比し夏期としては相當の成績を擧げたり這は二三經濟界の好材料に依り市面稍恢復したる結果に因るものなるべし（完）

○中旬運輸成績
八月中旬に於ける朝鮮鐵道運輸成績左の如し（△印減少）

	本月中旬	前月同期比較增減
乘車人員	三一、三〇七人	七、九三六人
小手荷物斤數	三三〇、〇八三斤	△二〇、四四八斤
貨物噸數	四一、一九四噸	九、八九三噸
客車收入	一〇四、六八七圓	一七、九四四圓
貨車收入	一二二、〇〇三圓	二八、六四四圓
運輸收入	二三六、七三九圓	四六、〇三三圓
一日一哩平均	三圓五錢	四圓九〇錢

○忠北農作狀況
本年度忠北農作物狀況に就きて道當局者の談に依れば五六兩月に亘る數回の大出水にて耕地流失等あり殊に霖雨のため一般農作物の發生阻害せられたるもの多く其被害劇甚ならんと憂慮しつ〻ありしが八月に入りて天候漸く恢復したるため被害の程度比較的輕微なるべく殊に

▲稻作の如きは本月に入りて不充分ながらも相當の日照時ありしため稍々順調に向ひつ〻ありて今後適當の晴天を見なば平年作を下るが如きことなかるべく出水被害の甚だしかりし本道は用水潤澤のため植付反別の如き例年に比し著しく增加を示し昨年の旱魃に比すれば優に五千町步を增したるに平作を見越す時は昨年の產米五十萬石に比し約一割の增收を豫想し得べく偶近時各地に發生の兆ある浮塵子、螟虫等も本道にては未だ發生極めて稀にして當局にて細心の注意と嚴重なる指導をなし一々被害苗の拔取を勵行せしめつ〻あれば今後大なる災害なかるべく目下在來種早稻は出穗期に向ひつ〻あり概して株張り充分なるが如し

▲畑作物にても大豆は更に被害なかるべきも瓜類、粟、陸地棉、葉煙草等は作柄甚だしく良好ならず就中重要なる農村經濟に至大の影響を及ぼすべく即ち忠州黄色葉煙草の二割五分、淸州山東煙草の五割減收を豫想せられつ〻あり之等は降雨の影響しかも共に赤星病發生に依りて幼苗中一時殆んど全滅の狀態に瀕したるため當事者は極力善後策を講じ辛じて叙上の減收に止め得たるものなり

▲粟は耐水力弱きと共に道內重要產地たる堤川丹陽地方の耕地たるや概ね山腹傾斜甚だしき畑地に栽培せらる〻ため數度の出水降雨により地表の發養分殆んど流失し加ふに土砂の流入により著しく畑地を害したるに基因し二割乃至三割の減收は免かれざるべしと

○天寶山鑛近狀
目下の準備時期とて未だ採鑛は行ひ難き爲め目下手掘式にて着々進捗し居れば來る九月下旬迄には鑛脈に達す豫定なりと聞けり此方にして鑛脈に達せば先づ第一著手に採鑛する計畫にて多少ダレ氣味の同鑛は茲に蘇生し一生面を開くべきならん尤も鑛業機は早くも之を据付けたるも肝腎の火藥到著は戰亂の打擊を被むり豫定を遲らしたるやにて本年の計畫に蹉跌を生じたりと傳へらる然れども同鑛にありて毎月數千圓內外は附近に潤ひ龍井村の如き些少なりとも同鑛の餘澤を被りつ〻あり同鑛が愈々採鑛の時期に入れば一箇月數萬圓の支出は當然疑ひなく間島唯一の金鑛として市況に好況を與ふるは勿論進つては同鑛の附帶事業として金融界に有力なる一機關を現出するかも知れぬといふ噂あり同鑛區は面積一方里を有し鑛區地內林產に乏しからず同鑛採用に要する木炭の如きも村中の樹林に仰ぐといふ便利あり尚ほ一方里の內には相當の耕地を有し居れば一面大地主にして同鑛の將來益々の氣運と見ゆ（間島）

○間島琿春旱魃
間島地方一帶は客月上旬以來絕て降雨あり炎天續にて折柄順良に生育する作物は發穗又は開花期に照り付けられたるを以て大半は枯死の狀態にあり此處十日間內に降雨なくば少しく高燥地にある作物は全部枯死すべく旱魃の被害大なるべしさて又た琿春方面も久しく引續ける旱魃にて高地に作付せる豆類、穀類は既に枯死し成熟の見込あるは底地のみとなり之れにて最近に降雨なくば充分なる結實困難なるべしと云ふが兩地方とも三年も續ける凶歉に次ぐに亦本年旱魃の被害を以てせる事とて一般農家の悲觀甚だしと

○沙里院穀物盛況
從來沙里院市場に出る米雜穀は主として當地在住の日鮮貿易業者の手にて買入せられ來りたる傾向ありしが本年は他地方より來る商人多く市場の殷賑名狀すべからず其重なるものを擧ぐれば神戶鈴木商店並に共益社は出張店を開き相互に競爭的買入に從事せるを以て市場に活氣を呈せり從つて沙里院驛に於ては未だ曾て穀物の發送の例なきに本年の如き穀物のみ積載せる列車十七臺を連結發送せるありて未だ沙里院驛に於て其例を見ざる盛況なり之れ本年は小麥其他の收穫良好なると復た價格の廉ならざるためなりと從つて市場の活氣甚だしく尚ほ鳳山郡地方の稻作は氣候順調なるため成績良好なると米價の廉ならざるため益々好景氣なりとす從つて市場活氣を呈せり

○京城商議臨時總會
京城商業會議所にては曩に東京に於て開催の全國商業會議所聯合會に出席せる西村副會頭の此程歸鮮したるにより近く臨時總會を開會し其報告を聽取し同時に其他の二三問題に就ても附議すべしと

○宇佐美長官招宴
宇佐美長官は廿三日過般御殿場にて開催せしキリスト教青年會に出席せし尹致昊同じく米利加を視察せし申興雨十二年間布哇に居たる高石柱帝國大學醫科皮膚科に學びつ〻ある吳競善開城の教育界に盡瘁せんとする梁柱三等の諸氏を主賓として秋山參事官、半田一課長、弓削學務課長、山縣セ[illegible]スブレス社長、阿部本社社長、奥山[illegible]國並に宗彥用、白象奎、崔相浩、韓[illegible]氏等を招き朝鮮ホテルにて午餐會を開催し諸氏の感想談等ありて盛會なりき

人事
▲宮川五郎三郎氏（[illegible]） 二十三日夜入京[illegible]旅館へ
▲黑板勝美氏（文學博士） 入京中の處二十三日夜平壤へ
▲シーボイト氏夫妻（米人） 二十三日夜入京朝鮮ホテルへ

南言北語
東京麻布龍土町の某大官の邸宅に先頃强盜が入つて金三圓を奪ひ去つた▲此の騷ぎに五百圓の損害を受けたのは隣家の露領漁業組合の神山潤次君▲何でも其夜强盜は近所の邸宅へ這入る時神山君の露西亞種の番犬で時價五百圓位のを犬を恐れて毒藥を食はした▲盜まれた方は平氣だが神山君は非常に落膽して居る相な之れこそ眞實に近所の迷惑▲文部省の名物男福原次官は煙草を能く忘れる▲役所へ來ても毎日の樣に「おい煙草を一本吳れ」と誰にでも遣つて居るが一日に幾本喫むかと聞くと▲「先づ一日三本だ」お煙草などと云ふものは附合が甚だ不確實だから人のも取つて喫めば人にも取られる女房や金も斯んな具合だと宜いがなあ」は相變らず人を馬鹿にして居る▲井口將軍が三十六日朝鮮ホテルで留別宴を開く事になつた▲處が困つたのは例の蠅一件副官が猪原マネーヂャーを電話口に呼んで突然蠅の交涉を始めた▲『オイ、ホテルには蠅が居るかね』猪原君何やら判らず『ハイ／＼』とやつた▲『一體ホテルの臺所にはハイが居るか ハイ／＼では困る』と肉薄する▲猪原君益々困つて『臺所にハイですか追い出せと仰つしやるのですか ハイ』▲電話の交涉は結局不調となつて今度は大城副官が蠅退治司令官に任せられ二人の小使を引率し廿五、六の兩日ホテルの臺所で猛烈な蠅退治を開始する相な

○守備隊鄭家屯占領
我鐵嶺派遣大隊は二十一日より活動を開始し鄭家屯を確實に占領し支那兵を退去せしめたり又八面城の守備隊も同地を占領し次で四平街の守備隊も支那兵營を占領し支那兵皆退却せり（大連特電）

○巴爾幹半島總攻擊
聯合軍は巴爾幹半島に對し總攻擊を開始せり（桑港特電）

○獨軍來春戰鬪準備
倫敦に於ける一般有力者の推測に依ればソンムに於ける獨軍は二百七十箇大隊より成れり尚獨軍參謀本部は更らに來春の戰鬪準備の爲め冬季前決戰を爲す可く必死の努力を爲しつ〻あり（倫敦電報）

▲會議の內容　該機關の議事は隨時遞信省に於て會議を開催し[illegible]委員より提出する[illegible]の二種と[illegible]むるも別に具體的案件なき時は見計[illegible]を求め臨時出席を依頼し得ることゝせり此提議に對しては各委員も主義として賛意を表しつゝあれば[illegible]

●暴風雨警報（二十三日午後[illegible]時發）
▲警文風强かるべし▲低氣壓位置 九州西方海上▲低氣壓示度[illegible]

蜂印香竄葡萄酒を

葡萄酒と云へば何人も直ちに

蜂印香竄葡萄酒を想起するは何故ぞや？

蜂印香竄葡萄酒には萬人の腦裏に徹底せる强大の特色あればなり

曰く 品質精良!! 美味滋養!!

優良生葡萄酒を素とし補血强壯料を主成分として精製せる本酒は只朝夕一杯づゝにして血を增し肉を肥やし力となる!!

賣捌元 東京本町 近藤利兵衛

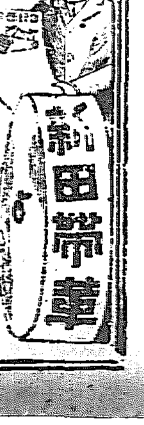
◇旗印苛性曹達其他藥品◇
小野田日本舍密製造株式會社製品

右會社製品は當社に於て朝鮮一手販賣權を有し居候ものに有之候處此頃日本舍密會社へ直接取引御申込ある向有之候へ共凡て御斷申上候に就ては多少に不拘當社に御引合被下度精々迅速廉價に御用命に應じ可申候

日本舍密製造株式會社製品朝鮮一手販賣 三井物產株式會社
京城支店
仁川出張所
釜山出張所
群山出張所

日韓書房
新版報告
總督府編纂 朝鮮林野分布圖 定價三圓 送料十二錢
金子堅太郎著 黑田如水傳 定價二圓 送料十八錢
池邊義象 校定 源氏物語詳解 定價三圓 送料廿四錢
三浦周行著 歷史と人物 定價一圓八十錢 送料十八錢
尾原亮太郎著 新獨逸 定價二圓 送料十六錢
京城南大門通二丁目 電話一五四 振替口座一一五

最良毛製屋根葺材料
ラバロイド
見本及定價表進呈
朝鮮總代理店 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話長四五番 二七四 振替京城二五六番
代理店
釜山南濱町 角野商店 電話一二三番
元山港 美島商店 電話一五九 振替京城一七一九
鎭南浦 釘本支店 電話六三 振替七六三

紡績 織布 バッキング ピッカー 牛皮諸革 綿革組金具 其他工業用諸品
品質保證在庫豐富


朝鮮總代理店 鐵商 白神洋行 仁川本町四丁目
定價表御請求次第進呈

興せしむる上よりして新運船舶の完成…を必要とす…備を圖る爲め海事調査會設立の必要なるを提議せられつゝあるは既報の…係業者が常に相持助し意思の疏通を努むること最も肝要なるべく而して…

…機關の形式

…は官制を要むる形式に依らず…閣議又は遞信省議の決定に依る…の當該官吏、民間…近業者、貿易業者、海上保險業者…得る權限を有するものなり…必要…其一部又は全部を召集し…驗ある者の意見を聽取する必要あるときは委員以外に於ても廣く適任者…なるもの〻みに止むることゝし議案…は大臣遞信大臣より諮問するもの…

●…船舶不着　二十三日…に來着すべき聯絡船對馬丸は海上不穩の爲め中途より引返へしたり（釜山特電）

巴布札布將軍と其自署

◉巴布札布の實弟　我赤十字社の救護を受く
痛手に屈せざる蒙古軍壯士の意氣

郭家店に於ける支蒙兩軍負傷兵救護の爲め同地に日本赤十字社救護班開設され公主嶺滿鐵醫院より長濱院長宇都宮二宮兩看護婦片岡助手來郭、公主嶺地方事務所河野吉村其他同所員幾務署員等は附屬地にある尤も戰鬪地に接近せる支那家屋十間房子を借受け五間を蒙軍負傷者隣家五間房子を支那人

▼負傷者收容場 として治療に着手せり是れより先四平街醫師竹本二丸氏は十五六兩日戰鬪負傷者に對し應急手術を施したり目下收容の負傷者は蒙軍廿名支那人二名避難負傷者二名なるが蒙軍中巴布札布の實弟フワン（三八）ありハリヒン（三八）とて二百人の頭領あり經營あり左に二三重傷者の模樣を紹介せんにフワンは十六日第二回巡警逆襲の際モーセル拳銃を持ちたる巡警が發射したる彈丸が左耳の根元より貫通して頰を擦過したるものなるが毅然赤手肉薄して

▼巡警の拳銃を 引ッたくり碎けよと許り頭部を毆打したる元氣者にして巴布札布の實弟なりチレドルニヒは一節年前左肩に貫通銃創を蒙り今尚ガーゼを詰て平癒せざるに係らず今回の戰鬪にて右足に盲貫銃創を蒙るチャフトン（三五）は十五日郭家店攻擊の際前右肺より肺臟を貫通して後背に貫通し咳嗽の時は少量の喀血を見るも平氣にして何等負傷の苦痛を知らざるもの丶如く十五六間を隔てたる病室より治療室に來るに他人の手を借らず自由に飛び廻るは只あきるゝ許りなりモンホー（三一）は斯かる老人にして備陣頭に立ち左腰部一箇所

▼腰間より腸部 に一箇所足部に一箇所何れも盲貫銃創を蒙り居れるが仲々重傷なり其他十八歲の美少年が右中指を挫かれたるにありて悲慘の狀態を示すも彼れ等は治療を受くるに當つて一言の苦痛を訴へず

◉夏の白頭山　露領から滿洲　朝鮮は一望の下
畫家詩人の材料にはならぬ山

松田學鷗氏一行の大森林中の天幕生活（十二）

白頭山は支那側から見れば屹立して實に雄峻に見ゆるとのことであるが朝鮮側から見れば極めて穩な姿であるこれは二十里も手前の農事洞からだらだら登りに登るからである頂嶺の方からでも同じである然し

▼頂上の觀望は 實に壯大宏濶何んとも名狀しがたい何にしろ日本海から目を轉じては露西亞領、滿洲、朝鮮とを一望の下に見おろすのである兎角高山に登れば飄々として仙ならむとする氣持がするものだが此山はそんな氣がしないで寧ろ天下を横行しやうとか席捲しやうとか云ふ感が起りはせんかと思ふ畢竟詩人や畫家の材料たる山でなくて

▼英雄豪傑的に 出來て居る山だと思ふ支那の愛親覺羅氏、高勾麗、楔君、李朝の祖先などの發祥の地としてあるのも故あることである白頭山の最高頂は大正峰で海拔二千七百四十三米、五で北緯四十一度五十九分廿八秒東經百廿八度四分卅七秒の地點である之は動かすべからざる正確なものであつて世間の圖書に

▼其位置や高さ についても種々に書てあるそれは皆間違であると云ふことを斷言する白頭山は別に大白山とも云ふ其山續に小白山（海拔二千百七十三米、九）がある此兩山は火山灰の白いので俺はれて居るまた山續きに大臙脂峰、小臙脂峰がある之れは赤色の熔土から成立て居る臙脂は『べに』であるから大白、小白に對してこんな名をつけたであらう今を距る恰度百五十年李朝英祖四十二年丙戌五月十三日の夜徐命膺の

▼一行が臙脂峯 下で緯度を觀測したことがある其時の測定は四十二度三分としたとのことである我調査局の大臙脂峰の位置は緯度四十一度五十八分十秒經度百二十八度七分二十二秒であるが學理の未だ進步せざる時代の測量としてはなか〳〵正確なものであると思ふ白頭山に登らんには新浦鎭昌に上陸するものは

▼惠山鎭を經る 城津からするものは合水の延岩を經る獨津や淸津からは茂山を通過するがよい私は茂山を通過した私は茂山に來たのが之れで三度目である、初めは明治三十九年七月に安原少佐（今は大佐）豊田陸地測量師（現今土地調査局技術課長）に隨つて來て余は十一月迄滯在した其次は同四十年四月から六月迄居つた此二度とも

▼白頭山に登る 時機を得なかつた、今度三度目に漸く登ることが出來た、其三十九年八月には同僚の太田銑太郎氏が村井某と云ふ通譯と僅かに二人の土民を連れて白頭山に登り同四十年には同僚大曾根誠二、中原佐藏の兩氏が登つた其時分はまだ〳〵日露戰爭の餘熱が冷ない時で死んでもよいと云ふ氣で極めて輕裝して幾多の艱難を經て登つたもので太田氏などは其れから支那吉林省內へ深く這入て來たことがある此三氏の登山は或要務の爲め

▼非常な功績の あるものであつた今は大曾根氏は何處に居るかわからぬ、太田氏は土地調査局に奉職して居たが病に罹つて死し、中原氏も或任務を帶び蒙古へ行て居るうち匪寒に襲はれ凍死した私は今般同山に登り殊に十年前茂山邊に或る任務を監督して居つたことを追憶して感に堪へない次第である（終）

◉豺白晝小兒群に躍り込む

黃海道谷山郡東村面梨花里に一頭の豺八月十一日午後白晝現はれ自宅に於て遊戲中なる小兒四名を咬傷したるが內一名（二歲）は翌朝八時頃に至り死亡し一名（ア）危篤に瀕しつゝありしが間もなく死亡せり他の二名（九歲及び八歲）も重傷を負ひ急報に接し附近都洞臨時憲兵出張所より上等兵一名補助員二名出張し一面里民を督勵して猛獸の驅除に努めつゝありと平然たるは原始的生活に依つて鍛錬したる體質なるに非ずやと吾人をして驚かしめたり（大邱特報）

◉長崎又復增加

長崎縣下に於ける虎列拉患者は廿二日正午迄の累計三百八十七名に達し一時減少せん形勢ありしも又復增加の模樣あり高島炭坑に於ける同日迄の患者累計二十名に及べり（長崎特電）

◉往十里停車場にて　巡査殺の大賊縛に就く
龍山憲兵分隊にて十數年前の兇行自白

和歌山縣海草郡楠見村字善明寺生れの乾龜五郎（三五）は九歲の頃無斷家出して大阪に至り天王寺町居住中なる實姉いとの許に同居し居れる內何時しか同地有數なる無賴漢の乾兒となりて十五歲迄惡事のかずかずを習ひ十五歲以後は數個の僞名を以て

▲各地を荒し廻り たる大膽不敵の兇賊にて明治四十年頃迄は大阪市南區木津北島町生れ花園淸之郎等と自稱し次いで明治四十三年以後は奈良縣北葛城郡岩園村字月山生れ坂口菊松と稱したるが同人は明治三十一年中竊盜罪に依りて和歌山區裁判所に於て花園淸の名義にて懲役五年の處分を受けて大阪監獄に服役したるを手初めにして三十四年十二月同監獄を出獄後又もや翌三十五年二月にも同名にて奈良縣五條區裁判所にて竊盜罪にて懲役五箇月、其後渡鮮して同年六月京城區裁判所にて竊盜罪にて懲役四箇月、四十四年一月にも京城區裁判所にて同罪にて又もや一年、四十五年中には坂口菊松の名義にて

▲京城地方法院に 懲役七年の處分を受け昨年中恩赦減刑に浴して減刑せられ本年七月十七日第三回目を以て永登浦分監を出獄し同日より管內に居住なりたる京城黃金町二丁目居住の松井某方にて出獄賞與金三十餘圓の盡くる迄徒食したる後更に又候竊盜を初め京城附近にては警察官の取締り嚴重なると共に刑事巡査などは何れも同人を熟知し居るを以て到底仕事の遂行不可能ならんと決心し偕て憲兵より嫉疑を受けざる手段として常に醜き風を裝ひ

▲朝鮮人宿のみに 潛伏して巧に姿を晦まし居れる內仁川の某に模樣を聞きて愈々滿洲に高飛びして一働きなさんものと決心し當時マラリヤ熱を犯して本年七月二十六日南大門驛發の急行列車にて安東縣に着したる際停車場構內にて某支那人所有の旅行鞄一個を掏りたるに中には現金二百四十三圓及び銀側懷中時計一個あり之を以て同地にて賭博をなし或は酒色に豪遊したる後七月三十一日龍山に舞ひ戾りて八月一日以降京龍にて小泥棒二三回を働きたるも思の如くならざるより更に八月十日頃釜山に赴きて二三箇所荒し廻りたる末汽車にて歸京の途中大邱慶山兩驛間にて一等車內の乘客なる某朝鮮人より現金十七圓在中の財布一個及び某內地人より縮緬兵兒帶一筋を掏りて京城に舞ひ戾り

▲新町遊廓で豪遊 の末又もや元山に立越して地の理を取調べたる上又々京龍間に潛伏し居れるもマラリヤ熱の激しきと京城にては仕事の不可能なるとより寧ろ內地へ歸らんと本月十六日往十里停車場より乘車せんとする所を龍山憲兵分隊の憲兵に取押へられたるが運の盡きにて目下取調べ中なるが同人は遂に包むに由なく恐るべき殺人罪を敢行したる事實を遂一自白するに至れるが彼は曾つて今を去る十二年前なる明治三十六年十月中和歌山市にて花井龍夫外一名と共謀し同市の染物屋某家にて强盜をなし逃走の際和歌山警察署より追跡を受けたる巡査三名及び刑事巡査中島某と格鬪し龜太郎は匿し持ちたる七首を以て中島刑事の

▲脇腹を一刺しに して即死せしめ現場を逃亡したるも共犯なる花井龍夫は捕はれ同地裁判所にて懲役十五年の處分を受けたるに惡運強き彼は遂に其後巧に姿を晦まし內地にては到底免れ難きを豫想して朝鮮落ちをなし原籍氏名前科等を隱蔽詐稱して今日に及びたる次第にて內地にては東京大阪京都名古屋神戸等の大都市を荒し廻りたることも自白せり彼は犯行後十餘年間の時日を經過せる今日なるを以て人相等も甚だしく變りたることなれば此際內地に歸ることも容易に嫌惡の發覺せざるべきを信じ斯くは高飛びを企てたるものならんと尙餘罪あるべき見込にて引續き嚴重取調中

◉大阪に下車すれば
矢張り釜山上陸の際に停留を命ぜらる

二十二日より大阪市及び其の近傍並に熊本縣天草郡を長崎同樣コレラ流行地と認め警務總監部より各道警務部長に通牒を發したれば同地を發し又は同地を經由して來りたる船舶の乘客は出發後五日に滿つる迄上陸地に於て停留さるゝ筈にて又船舶は同地に寄港せざるも同地より來りたる乘客は右同樣停留され尙汽車にて大阪を通過して朝鮮に來りたる者は普通停留せられざるも若大阪に途中下車を爲したる時は傳染病に汚染したる虞ある事大阪を發したる者と同樣なるを以て其の出發の日より五日に滿つる迄上陸地に於て停留せらるゝ筈なりと

◉西氷庫水泳閉場

市內小中學生の水泳場たりし西氷庫も彌々二十四日午前を以て閉場することゝなり金谷府尹其他臨場終了式を舉行する由

◉前科數犯の賊

廣島縣高田郡橫田村生れ住所不定の福島千代太事松田定市（三五）は數年間滿州地方を荒し廻り前科數犯の曲者なるが本年一月十五日頃京城に流れ込み福島千代太と僞名して本町筋の重なる吳服店數軒より反物を萬引し南大門通四丁目松本某より金三圓を騙取して檢擧せられ京城地方法院にて懲役三年の判決を受けたるを不服とし同覆審法院に控訴したるも棄却さる

◉公園內の行倒れ

二十二日午前七時頃京城南米倉町漢陽公園上口松林の間に卅二歲位の朝鮮男子行倒れて死亡し居るを社稷洞村一錢發見し本町署より係官及び警察醫出張檢視せしが心臟炎にて死亡したるものと判明屍體は府へ引渡す

◉嬰兒を壓殺す

江原道鐵原郡馬場面密岩里石橋李明煥長女李愛物（三二）は夫金在英不在中同家雇人韓龍雲と私通し大正四年舊八月五日午後十一時頃男兒を分娩したるも世間態を恥ぢ直ちに壓殺して屍體を同夜附近の谷川に投棄したること此程に至りて發覺し其筋に檢擧さる

◉京城秋季淸潔法施行

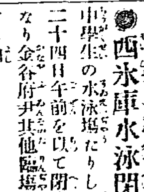
京城本町警察署にては內地各地に虎疫流行と共に鮮內に於ても警戒嚴重なる此際とて定期たる秋季淸潔法施行を例かより早く切上げて本月二十八日より九月四日迄管內各戶に就き秋季大淸潔法を實施すべしと尤も雨天の節は各町の割當日を一日宛遲延すべし

◉書畫珍器展覽

前記の如く近藤佐五郎氏の古室にては今回馬山並に京城の某家所藏品書畫珍器家具類數百點を委托されたるより南山町松葉亭にて二十四日午前より午後四時迄下見同日午後六時より即賣に附する由なり

◉御內臟寫眞の賣れ行良好 [illegible]

▲黃金館 二十四日より [illegible]



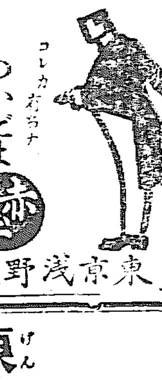
▲閔元植長官に隨つて東上した金東完氏は京城に於ける謠曲大家として有名だが今度も東上するとイの一番に旅舘へ觀世の大家淸水福太郞氏を聘して五日間も中西四朝稽古を付けて貰つたさうな▲觀世の家元も東京には內外人多數の弟子が居るが其の熱心さは金東完氏に及ぶ者は一人もないと賞揚して居つたと云ふ▲氏の熱心な事は世子殿下もよく知つて居られて顏を見ると『どうだ一つ謠はんか』この御殿…『畏つて候』とすぐ御前謠をやつてけたといふ▲新宿御苑の午餐會に招かれた時は寺內總督も居られて一つやらんかと云はれたが流石の金東完氏も午餐會の席上では椅子に腰を下して『花の都を立ち出でゝ』とも行きないのでやり度い事は山々だつたが御免を蒙つたとの事だ▲往復の汽車中で閔長官を前に据ゑて頻に謠つて『閣下謠曲は謠に限ります』と云ふと『さうかなア』で一向御ひたねがたい▲忠北忠州の藝妓の間には疥癬が流行してお終ひには客筋を傳つて其の家庭へまで藝妓の疥癬が傳播すると云ふ騷ぎ▲疥癬といへばいくら妓の持物に成つたつて粹なものでない硫黃臭い奴をブンと嗅がされては艶消の至りだが單に艶消位に止まらず公衆衛生上默過すべからざる爲し忠州憲兵隊では遂に其の內の甚だしい二軒の料理屋に對して營業停止を命じたさうだ

機械工學設計…通信通學規則要三錢
大阪製圖學館　大阪市西區本田二番町

謹近火御見舞
產婆　上田操
仁川宮町（電話六四七）

謹近火御見舞
スタンダード石油會社指定販賣店
仁川松岡石油組合

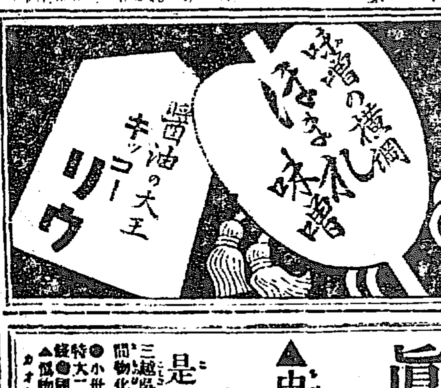
謹近火御見舞
小倉病院
仁川新町三丁目
電話四〇二番



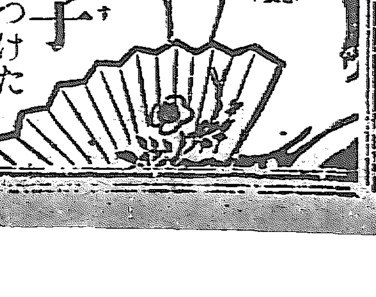
新刊書御案内

書名	著者	定價
同 憲法解題	弘文堂	七五
日本民法第三編債權	石坂音四郎	二、〇〇
改訂新刷 想痕	三宅雪嶺	一、六〇
改版南歐の日	有島生馬	一、〇〇
新譯紫式部和泉式部日記	與謝野晶子	一、三〇
新撰千規句集	千葉鬼村	六〇
カイゼルの裏面	宮家新男譯	八〇
エムデン青島を脫出でて	同	七五
朝鮮鑛業要覽	朝鮮鑛業研究會	一、二〇
タングステンとモリブデン	[illegible]	六〇
法律講義	坂上…	特七五
司法律問答朝鮮行政法規概要	同	四〇
最新法律大辭典	淸水外二	特五、〇〇
朝鮮會話文法	安達大壽計	四〇
同 作文軌範	同	四〇

大阪屋號書店　京城本町　電話二六〇八　振替京城二五三七



原料香水　オリヂナル



扇子につけた一滴の香水一年たつてもいゝ匂ひ

宮內省御買上品

オリヂナルの眞價は茲にある

▲中元暑中の御進物は是れに限ります

三越吳服店を始め有名吳服雜貨小間物化粧品店に販賣す
●小卅錢●中六十錢●大一圓廿錢
特大二圓四十錢
匂袋●小十錢●中卅錢●大一圓廿錢
▲僞物あり發賣元に御注意
カオール本舖　東京　安藤井筒堂

渡邊默禪

【八四】お籠堂

糧食運搬の人夫を指揮して一足後から出發して生駒吉十郎は、先發隊の足跡を踏に約二里、龍が獄の麓まで進んだ時分は、大野の率ゐた一隊よりも一里ばかり遲れてゐた。遲れるのも無理でない。恁んな深い雪を見たことさへなかつた彼に、纔か一里行くか行ゆかぬに最うへとへとになつて了つて、杖に縋りながら大息をつく始末だつた。

そら風が出た、雲が動いた、今に山が荒れるぞと騷ぎはじめた人夫の叫びは、前から嫌氣のさしてゐた彼の心に、たまたま恐怖以外の或る機會を發見せしめた。

『なに、山が荒れる？それは大變だ。おい、こんな時に急いだつて駄目だ。待て待て。わいと此の邊に何處か避難するだけの場所がないか。』

彼は慌てた樣子で恁う言つた。でも有りますと言へる者はなかつた。と、彼はふと思ひついたやうに、

『む、この跡に辻堂のやうな物があつたな。彼所へ行つて暫く模樣を見ようではないか。さ、急いで引返せ引返せ。』

號令をかける下から眞先にすたこらさと逃出した。人夫も續いて跡戻りした。その時は既に凄じい風が大濤のやうに森林の梢をゆすつて黑雲に呑まれた龍が獄の頂上から釣瓶落しに紛なたる雪を蹴下してゐた。

驅込んだ辻堂は、前々夜源作が天狗どのと押問答をしたといふお籠堂だつた。中は潤いといふ程ではないけれど、十人ぐらゐは樂に入られるし、中央に爐を切つてあつて焚火もできれば、大きな鍋も自在鉤にかけてある。また佛壇の後に小高く燃料も積んであつた。

みんなが焚火の準備をするうちに生駒はちよつと堂の外に出て、通路の傍にある大杉の幹へ一つの目印を打つた。それはちやうど大野が輸町の宿の前で拾つたものと同じな赤い絹のリボンだつた。

火に焚つてゐるうちに吹雪は次第に激しくなつた。狹い格子の窓から覗いて見ると外は、眼に白雨な、手近の森も杉も只一刷毛にかき消されてゐた。剃刀をあてるやうな冷たい山の嘯息はばたばたと扉を鳴らして、針ほどの隙間から颯と白い粉を吹入る。

その雪は日沒近い頃になつても止む氣色はなかつた。生駒はとても今日のうちに出かけられる見込がないからと、人夫に吩咐けて其處に露營をさせる準備をさせた。食糧は十分に攜帶してゐるのであるから、幾日降り續かうが平氣なものである。

と、麓の方から吹雪を冒してのそりのそりと登つて來た者があつた。是れはマントの頭巾を目深に引いて、カーキ色のゲートルを脛長に著けた小柄な男だつた。ちやうど辻堂の前まで來て大杉の根元に目がとまると少頃佇んで堂内の樣子を覗つてゐたが、頓てづいと堂の正面へやつて來て、雪を融かした水で米を磨いでゐた人夫の側へ寄つた。

『へい、ちよつとお尋ね申しますが、この中にもしや生駒さんといふ方がおいでになりやしませんか。東京の方がお在になるなら、伊藤半助といふのが、急用で態々登つて來たと傳う言つてお呉んなさい。』

日暮時のしかも吹雪の那樣だつたので、顔はよく見わかなかつたけれども、物の言振が土地の者らしくなかつたので、人夫はやはり東京の人だらうと想つた。

『あゝ生駒の旦那ならござらはる。ちよつと待つてけらつしやい。今呼んで來ぐから。』

堂の中に入つた。間もなく戸口に出て來た生駒が、

『やア、半助君か。まア此の雪によくやつて來たね。』

と態と大きな聲で言つた。

入院隨意 胃腸病院 京城南大門通三丁目(鈴木商店横入る) 電話一六五九番 院主 佐々木杏造

▲新有吉新版賣 新著廻輸付物販賣 ▲古本高價買受 京城本町一丁目 松井松榮堂書店 電話一三七八

□浮城會八月例會 —大正五、八、一四—

野分
老鶏は殺されてゐる野分哉 北星
野分すさまじく沙汰に埋る井戸 同
僕呼ぶにねむたがり居る野分の夜 雉子郎
事に備ふ馬嘶ける野分かな 潮外星
丘墓地の草刈る朝の野分哉 九鵬
野分すや丘の墓石のあらはなる 嘘中子

踊
踊人に關脱け人の交りけり 雉子郎
旅情そゝろ踊見るべく欄に凭る 韮城
耻ぢ心工女は知らず踊り居る 田打夫
踊子の顏の白さよ瓜畑 五洞
踊子に日未だ消へざる濱淋し 橙黄子

黍
黍の秋兵より戻り氣荒む 雉子郎
黍の月立ち居り待つに馬車遲し 同
苦もなげに黍の月夜を旅力士 同
人避けて夜空に居る黍の風 田打夫
天井の土また落ちる黍の風 同
したゝかに水飲む馬夫や黍の家 橙黄子
黍の月農園めきて門扉なし 同
戰跡を訪ふ人もなし黍の風 韮城
馬と我と黍にたどる家遠し 不滅
蒙壁の厩白しや黍の月 嘘中子

新刊紹介

▲山東(四) 外人の觀たる山東の革命黨、山東今後の我經營如何、寺內家に一考を要する某々[illegible](山東通信社)

▲婦人週報(二ノ三四) エレンケーの[illegible]

▲婦人小學(九月號) [illegible]

▲國民印度研究 [illegible]

●沙里院の衛生組合は何時出來たか組合に相當な資格は時節に納涌活動すべき時季ならぬや現時の沙里院として適當の方針を立てて實踐の擧けられんことを切望す沙里院ところまつかの皮と犬のくそであるけませんか質にきけんです(代表者)▲黄金町に通ずる南大門通りが修繕中なので電車が込合ふやら荷馬車が驀いてピン〜〜飛び廻ると云ふ始末で危險此上も無し(馬キライ生)▲近時電車に對して不平が多い樣なが慣例を上げもせず唯不平を云ふのは止すが好い公の交通機關に對して不平があれば好意的注意を與へるのが可いではないか(公平無視者)▲黄金町の名物團子は殘念にも最う名物の資格がなくなつたと云ふのは今度の主人が最う少し前主人から秘傳を習つて居らなかつた爲だと(團通)▲一時公園の早朝散歩者を賑はした朝鮮美人は此頃夜の九時か九時半頃に出掛けて來るから拜顏の榮を得たい人は行くべし(ロハ臺の男)▲記者さん京城名物の第一として南山町の鮨の雀ずしを知らないのでせうまだ〜〜通ぢやないですね(食道樂)▲旭町一丁目から南米倉町へ越す總督府官舍のある片側のガケの土をヨボが無暗に掘つて居るのは好いが下の方許り掘るからウツロになつて居る雨でも降れば崩れる事は受合(オッチラー生)

明治町フランス教會右トナリ 岡村介石

京城旭町一丁目四番地(旭町上る左入る) 外科 花柳病 皮膚科 內科 耳鼻咽喉科 島崎病院 電話二七三六番 院長 島崎龍一 診察夜九時迄 手術室新設、隔離室、普通病室設備 入院隨意

梅毒と化學の妙技
▼安全なる內服劑で ▼自宅で治る
人智學術の進歩に依り、自然界の不可思議なる秘密を看破されたる化學上の新智識を梅毒治療の目的に巧妙に應用して安全にして奇効ある內服劑として現れ、梅毒の恐るゝに足らざる境地の一大成功を斯に告けたるは當研究所の發表せる梅毒自宅療法
傳染の初めに一刻も早く服用すれば横痃も出ず局部限りにて癒着す
時候疹、楊梅瘡、痲瘡、膿腫、脫毛、聲啞、かさ目、鼻塞、頭痛、關節痛其他痼疾の全身梅毒も化學作用にて病毒を體外に排泄する故着々症狀を輕減し迅速に治癒の最終目的を貫徹す
無代進呈 ハガキで照會あれば詳細說明書秘密送附す
遠隔地方にも郵便に新しい惡患者は普及時代進歩の賜なり
◎花柳病患者は其病名を記し申込め最善進歩の自療法を送附す。
東京市本所區向島小梅町二 東京藥化學研究所

花柳病專門藥
梅毒 淋病 痲疾 普通 金壹圓卅錢 特製 金貳圓 普通 金貳圓 特製 金貳圓五拾錢
◎一週間分
本劑は我商會が多年の實驗と最新學理の應用とに依り最も卓効を有する新藥を主劑とし諸種の健胃劑を配合して合理的に良劑し花柳病疾患に服用して安全に治療の目的を達し得る最新良藥なり
自宅療法 中込あれ無代寄送す
京城永樂町二丁目交番北 東京 ドラッグ商會 蒲鮮本部
◎類似品あり花柳病には東京ドラッグの製劑に限る

登錄商標 瓢水味淋 堺 嶋󠄀藤 釀
京城本町二丁目 專賣店 前田酒店

▲最も進歩せる 家庭常備藥
京城 南大門通 ドラッグ商會 電話長二五六七 振替京城五六七
[illegible]

かつけ 脚氣 尼崎 [illegible] 賣藥 京城 東京中濱谷町 尼崎兄弟商會 販賣元 村井[illegible]

●信濃電氣株式會社精製 カーバイド 靑光線印 赤光線印 靑大陽 赤太陽改
當分靑光線印のみ輸入仕候 何卒多少共御用命奉願候
サクラビール特約販賣 南鮮特約店
釜山港辨天町 電話一三三九番 福榮商會

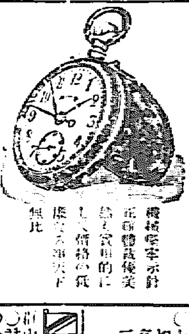
內科 小兒科 入院隨意 京城日出小學校前 多々見醫院 電話九四〇番

世界名花の精を集めた ツバメ香水
清純な匂は一滴でよく[illegible] 今や上流社會[illegible]流行品

列車時間表
川輕便鐵道
仁川發 前六、〇〇 九、〇五 後十二、〇五 三、四〇
新安州著 前七、五五 十一、〇五 後二、〇〇 四、四〇
新安州發 前九、一〇 後十二、二〇 後二、四五 五、三〇
仁川著 前十一、〇三 後一、三二 四、三七 七、二八

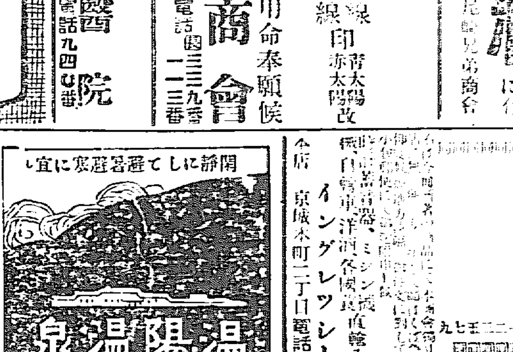
大日本大阪藥草園 效能 逆上を引下げ便通をよくし黴毒其他諸毒を下す 效能で賣れる ひえもり 昔も 今も
電南七二九 振替阪九七三 本家七ふくや伊藤長兵衛

醇良清酒 白鶴
仁川本町三丁目 増本酒店 電話一〇九番 振替京城六一九番



新荷著 懷中時計 [illegible]

[illegible]
京城本町二丁目電話九七二番 インゲルソレー商會 本店 洋酒、各國煙草、ミシン機直輸入商



大邱浦項間自動車發時間
大邱浦項自動車部 大邱出張所 電話一七番
[illegible]

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行 月 日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行 月 日後十時出帆
元山、城津、浦鹽行 月 日後十時出帆
小倉丸 月 日後十時出帆
第三琴平丸 新浦、城津、清津行 月 日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行 月
住須奈、嚴原、壹岐、博多行 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
天眞丸
釜山港 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
芝罘、大連行 八月廿三日後四時入 八月廿五日前九時出
第一共同丸
京城、平壤(鎭南浦)にては南鮮運輸株式會社、大連にては市島行定期船接續、浦鹽にては朝鮮鐵道株式會社取扱申候
城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 月 日後九時出
第一阪鶴丸 西湖津沿岸各港を經て雄基行 月 日前八時出
第三共同丸 元山出帆 月 日
阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目 電話一〇八番
仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

日本郵船仁川出帆
大連、大沽、牛莊行
相模丸 九月七日 後八時出帆
高砂丸 八月廿七日 正午出帆
三河丸 八月 日 正午出帆
仁川港町十二番地 電話 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
釜山、木浦、下關、神戸、大阪行
弘濟丸 八月廿四日後四時出帆
大有丸 八月卅一日後五時出帆
神代丸 八月廿九日後四時出帆
秀吉丸 八月廿七日後四時出帆
仁川濱町 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五二番二三二番 京城南大門前 松原運送店(電話長一七〇番)
全羅丸 八月三十日 釜山發
京畿丸 八月九日
黄海丸 八月廿四日
咸鏡丸 九月三日
門司より釜山各港經由濟州島
鏡城丸 九月一日 元山發
昌平丸 八月廿九日
慶興丸 八月廿五日
清津丸 八月三十日 元山發
平壤丸 九月八日
永興丸 北久木五里浦行 毎月廿八回 元山發
慶尚丸 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行 九月一日 釜山發
江陵丸 毎日 釜山發
咸陽丸 長生浦方魚津寄港 浦項發
三浦丸 八月廿九日 釜山發
濟州丸 巨濟丸 毎日 釜山發
順天丸 三日目毎ニ 木浦發
慶興丸 八月廿五日 木浦發
慶興丸 九月一日 木浦發
公州丸 八月廿七日 木浦發
宗信丸 海州他各港經由德洞又は甕島行 八月廿九日 仁川發
江原丸 八月廿六日 仁川發
麗水丸 九月一日 仁川發
晉州丸 八月廿五日 仁川發
錦江丸 南陽 毎日午前 仁川發

大阪商船仁川出帆
群山、木浦、釜山、關門、神戸大阪行 八月廿七日 後五時出帆
須磨丸 九月三日
安東丸 八月廿九日
天智丸
鎭南浦、龍岩浦、安東縣行 八月廿六日 後二時出帆
木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行 八月廿七日 九月十四日 後二時出帆
信濃川丸
木浦釜山關門、神戸、大阪行 八月 日 後二時出帆
安東丸
鎭南浦、大連行 八月 九月 九日 後二時出帆
大連直行 八月廿五日 正午出帆
日永丸 福州丸 九月四日
群山、釜山、横濱行 九月 十日 後二時出帆
潮州丸 福州丸
清津、浦潮行(元山出帆) 八月二十七日 後二時出
宮島丸 九月二日
基隆丸 八月廿四日 前四時出
上海、基隆、打狗行(大連出帆) 後六時出
御注意 各船は大阪商船會社の船にして連絡切符發賣所は本社支店其他の代理店なり
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番二一〇番 五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇八番

商況
大阪株式特電
合同紡績 [illegible]
▲二十三日後場
[illegible]
下關期米特電
▲二十三日後場
[illegible]
東京大阪後寄共に未著大阪前止十五圓七十六錢の入電にて當地爲中出來不申先十三圓六十四錢[illegible]
[illegible]